

2593

瓊書
實用眼科學
全

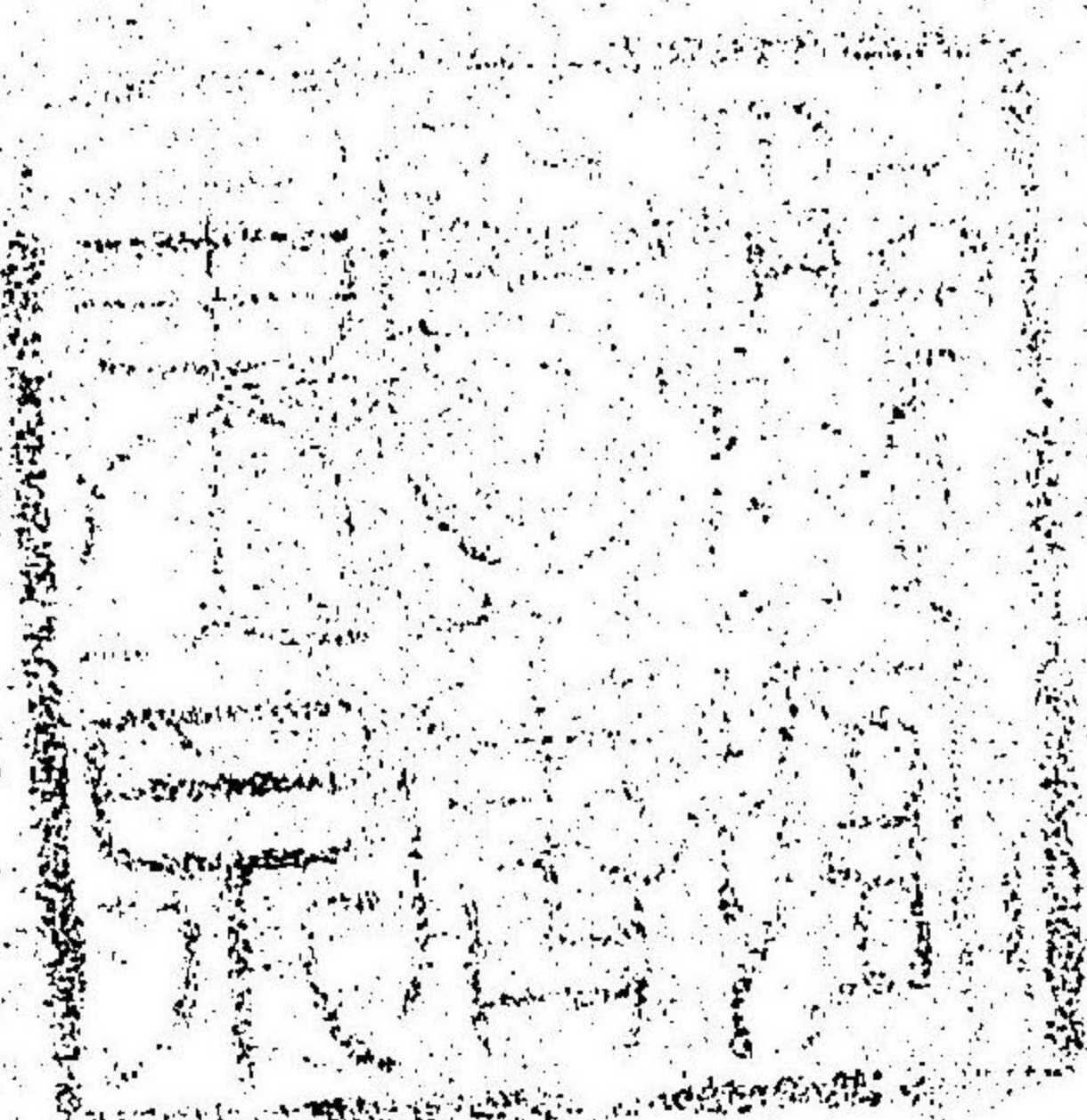
醫學士
ドクトル
宮下俊吉校補



宮下眼科
醫院助手

國谷末之輔
鈴木近松
飯塚

纂譯



緒言

書肆某余輩ニ囑スルニ簡潔ナル復習用眼科
學ノ編纂ヲ以テス乃チ試ニ方今獨塊兩國ノ
醫術開業試問受験生カ無二ノ好侶伴トスル
ブライトンスタイン氏ノ眼科學復習書 *Prei-
tenstein's kurzes Repetitorium* ヲ出シテ之ヲ示ス
某拍手善ト稱ス因テ之ヲ骨子トナシ間余輩
カ恩師ニ親炙シテ學得セル所ノ卑見ヲ交ヘ
更ニヒルシユベルグ、フックス、マイエル、ミッヘル、シユ

ミットリンプレル、クニース等ノ諸書ヲ參商シ
 テ其粹ヲ拔キ以テ足ラサル所ヲ補ヒ恩師ノ
 校補ヲ得テ之ヲ某ニ授ケタリ
 本書ハ固是レ復習用ニ供スヘキモノタリ、故
 ニ書中ノ記載專ラ簡約ヲ主トセリ瑣々タル
 一小冊子後進ニ寸益アラハ幸甚

明治廿九年四月下浣

纂譯者謹識

復習用眼科學目次

	頁數
○通論	一
●視診	一
○第壹節 視學篇	三
●中心視力測定法	三
●視野又視界測定法	五
●ブルキニエー氏ノ映像	七
●遠視眼	八
●近視眼	九
●亂視眼	一
●調節麻痺	一四
●調節痙攣	一五
●老視眼	一六
●弱視	一七
●夜盲症	一九
●色盲症	二〇
●斜視	二一
●眼筋麻痺	二三
●眼球震盪症	二七
●眼底検査法	二八
●屈折検査法	三〇
●眼鏡測定法	三三
○第貳節 眼病ノ病理及治法	三五
○結膜	
●加苔兒性結膜炎	三五
●水泡性結膜炎一名結膜濕疹	三八
●膿漏性結膜炎	四一
●「トラホーム」顆粒性粒性結膜炎	四五
●治弗的性結膜炎	四七
●發疹性結膜炎	四九
●春季加苔兒	四九
●翼狀膜	五〇
●結膜乾燥症	五一
○角膜	
●(甲)無膿性角膜炎	

- 「マンヌス」..... 五三
- 角膜實質炎..... 五五
- 帶狀角膜炎..... 五八
- (乙)化膿性角膜炎..... 五九
- 角膜潰瘍..... 六二
- 角膜膿瘍..... 六二
- 角膜「ヘルペス」..... 六三
- 深層點狀角膜炎..... 六四
- 兔眼ニ因スル角膜炎..... 六五
- 角膜軟化症..... 六六
- 神經麻痺性角膜炎..... 六六
- 角膜斑..... 六七
- 角膜葡萄腫..... 六九
- 老人環..... 七〇
- 鞏膜
 - 鞏膜炎..... 七〇
- 虹彩
 - 虹彩炎..... 七二

- 瞳孔散大症..... 七七
- 瞳孔縮少症..... 七八
- 「ヒップス」..... 七九
- 脈絡膜
 - 脈絡膜炎..... 七九
 - 滲漏性脈絡膜炎..... 八十
 - 化膿性脈絡膜炎..... 八一
 - 前鞏膜脈絡膜炎..... 八三
 - 後鞏膜脈絡膜炎..... 八四
 - 脈絡膜缺損症..... 八五
- 硝子體
 - 硝子體炎..... 八六
 - 硝子體出血..... 八七
 - 飛蚊症..... 八八
- 網膜
 - 網膜中心動脈「エムボリ」..... 八九
 - 網膜出血症..... 九〇
 - 網膜充血..... 九一

- 網膜炎..... 九二
- 網膜痕削症..... 九五
- 色素性網膜炎..... 九六
- 網膜剝離症..... 九七
- 視神經
 - 視神經網膜炎..... 九九
 - 下行性視神經炎..... 一〇〇
 - 視神經痕削症..... 一〇一
- 水晶体
 - 白内障..... 一〇二
 - 水晶蛋白内障..... 一〇四
 - 間層白内障..... 一〇五
 - 後發白内障..... 一〇五
 - 先天性白内障..... 一〇六
 - 外傷性白内障..... 一〇七
 - 水晶體缺乏症..... 一〇八
 - 水晶體脱臼症..... 一〇九
- 綠内障

- 急性炎性綠内障..... 一一〇
- 慢性綠内障..... 一一二
- 水眼..... 一一四
- 交感性眼炎..... 一一五
- 眼瞼
 - 眼瞼缺損症..... 一一七
 - 眦羞着症..... 一一七
 - 眼瞼愈着症..... 一一八
 - 睫毛亂生症..... 一一八
 - 瞼緣炎..... 一一九
 - 麥粒腫..... 一二〇
 - 霰粒腫..... 一二一
 - 眼瞼濕疹..... 一二二
 - 眼瞼膿瘍..... 一二三
 - 瘻腫、癰..... 一二三
 - 丹毒..... 一二三
 - 眼瞼内翻症..... 一二四
 - 眼瞼外翻症..... 一二五

目次畢

●眼瞼下垂症	一二七	○第五節 手術	
○淚器		●(其一)眼瞼手術	一四一
●淚囊腺漏症	一二七	●(其二)淚道手術	一四七
●淚管炎	一二九	●(其三)結膜及角膜手術	一四九
●パセドウ氏病	一三〇	●(其四)眼球ニ施ス手術	一五二
○第三節 眼ノ損傷		●(其五)眼筋ニ施ス手術	一六三
●(其一)打撲(鈍體作用)	一三一	●(其六)眼球摘出法、眼球及眼窩内内容物 摘出法、視神經及毛様神經切斷又ハ切 除法	一六五
●(其二)切創及刺創	一三四	○義眼	一七一
●(其三)火傷及腐蝕	一三四	○異物	一七二
○第四節 眼ノ新生物		○處方集	一七三
●眼瞼●結膜●角膜●鞏膜●虹彩●脈絡 膜●網膜●視神經●眼窩	一三六		

復習用眼科學

醫學士
ドクトル

宮下 俊吉 校補

國谷末之輔

宮下眼科
醫院助手

鈴木 幹 纂譯

飯塚 近松

通論

視診 Inspection

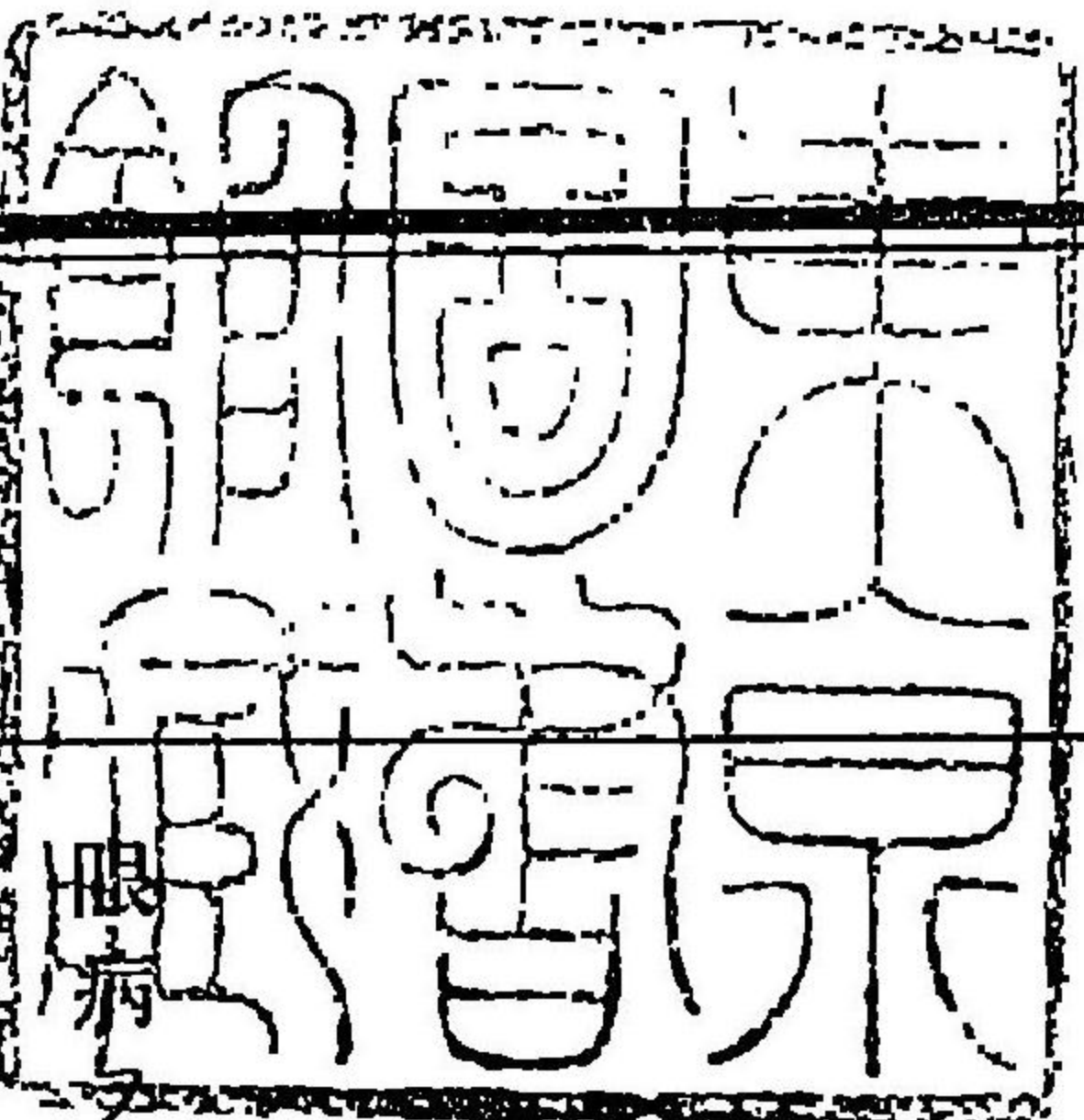
眼病

診定セント欲セバ必スヤ一定ノ順序方法ニ遵ハサ

ル可カラス、即チ先ツ患者ト若干ノ距離ヲ隔テ、其全身ノ

舉動、状態ヲ觀察シ、尋テ發病ノ日時并ニ最モ困難不快ナル

症狀等極メテ簡單ナル既往症ヲ取ルヘシ(既往症ヲ尋問ス



ルト全時ニ全身ノ視診ヲ爲ス片ハ一舉兩得ナリ(局部視診ノ順序ハ眉毛、睫毛、眼瞼、臉裂等尤モ外表ニ露出セル部位ヨリ首メテ漸次結膜、角膜、前房、虹彩等ニ及ブ
 眉毛ニ在テハ其兩側同位ニ並列スルヤ否(眼瞼下垂症アルキハ患側高ク聳フ)ヲ檢シ、睫毛ニ在テハ其疎密、排列ノ正否等ヲ檢シ、眼瞼ニテハ皮膚病、腫瘤ノ有無、臉裂ニテハ其廣狹(兔眼、バゼトウ氏病、下垂症等)ニ注目スヘシ
 結膜ハ百病廣集ノ府ニシテ醫ノ最モ注意スヘキ處タリ、即チ先ツ眼球結膜ヲ視察シ、次に上下眼瞼ヲ翻轉シテ眼瞼結膜殊ニ穹窿部ヲ熟視スヘシ
 角膜ニ在テハ其大小形狀及ヒ渾濁ノ有無ニ注意シ、前房ニテハ其深淺廣狹ヨリシテ、房水ノ清濁、血液、膿液等ノ存否ヲ

檢シ、虹彩ニ在テハ色澤、光澤、繡紋ノ狀態、瞳孔ノ反應、震盪症ノ有無等ヲ檢スヘシ
 眼球全體ニ就テハ其大小形狀及ヒ諸般ノ運轉、位置、位向等ヲ檢シ、最後ニ内壓ノ高低ヲ査定スヘシ

第壹節 視學篇 Optischer Teil.

中心視力測定法 Bestimmung der

centralen Sehweite(S或V.)

中心視力トハ一定ノ距離ニ於テ、多少相隔離スル所ノ二箇ノ點ヲ明視シ得ル眼ノ機能ヲ謂フ、而シテ視角愈ヨ大ナレハ則チ瞻視亦タ隨テ愈ヨ明瞭ナリ
 正視眼ト屈折狀態ヲ殊異ニスル所ノ眼ヲ總稱シテ不正視

眼ト云ヒ之ヲ別テ近視眼及ヒ遠視眼ノ二種トス
 中心視力ヲ測定セント欲セハ患者ノ眼ヲ距ルコト六メー
 トル^{フイム}二十呎ノ處ニスチルレン氏又ハニーデン氏試視力表
 ヲ用シ其最大記號ヨリ始メテ漸次最小記號ニ及ホス此際
 不正視眼ノ疑アルキハ先ツ弱キ凸面^{コン}レンズヲ試用スヘシ
 之ニ由テ視力忽チ増加スレハ則チ漸々其度ヲ強メ其最高
 度ノ^{コン}レンズヲ矯正眼鏡トス若シ凸面^{コン}レンズヲ裝用シテ視
 力却テ減少スルトキハ之ニ代フルニ凹面^{カブ}レンズヲ以テス
 ヘシ之ニ由テ視力尙ホ依然増加セサルカ或ハ却テ減少ス
 ルキハ則チ圓錐^{コン}レンズヲ試用スヘシ(亂視ヲ檢スル爲メニ)
 凹凸圓錐^{コン}レンズ共ニ効ヲ奏セス中心視力一定度(即チ $\frac{1}{100}$
 又ハ $\frac{1}{30}$)ニ達セサルキハ則チ角膜水晶體又ハ眼底ニ病變ア

ルモノト假定シテ概チ太過ナシ(高老ノ人ハ破格ナリ)
 不正視眼ノ種類(近視カ將タ遠視)及其度ヲ測定シタルキハ
 則亦タ直ニ中心視力ヲ測定スルコトヲ得而シテ其書式ハ

$$S \parallel \frac{P}{D}$$
 (視力ハ距離ヲ表示スル數ヲ試視力表ノ番號數字ニ
 テ除シタルモノニ均シト曰フ意ナリ)

視野又視界測定 Bestimmung des

Gesichtsfeldes(Sehfeldes)

網膜ノ黄斑部ハ最大視力ヲ有スルカ故ニ之ヲ明視點ト謂
 フ所謂中心視力ハ即チ黄斑部ノ視力ニシテ此ヨリ漸ク邊
 緣ニ至ルニ隨テ視力不釣合ニ減少シ一定ノ處ニ達スルキ
 ハ遂ニ物體ノ形狀ヲ辨識スルヲ能ハス此黄斑以外ニ於ケ

ル視力ヲ測定スル法ヲ視野測定法ト云フ
 此法ニ使用スル器械數種アレトモ通例フォルスレル氏ノ視野計(近時所謂自記視野計 Selbstrregistrirender Perimeter ナル輕便器械アリ)ヲ用フ
 極メテ簡便ナル測定法ハ檢者ト被檢者ト相對坐シ、被檢者ニ命シテ自家ノ異名側眼(左眼ヲ檢セント欲セハ右眼ヲ固視セシメ、之ト全時ニ自家ノ手ヲ上下左右及ヒ其中間ノ諸方位ニ移動シ、以テ其視得ル區域ノ廣狹ヲ測定スルニ在リ、此法ニヨルルハ被檢者ハ果シテ命令ノコトク固視物ヲ注視スルヤ否ヲ知ルノ便アルノミナラス、亦タ直ニ自己ノ視野ト患者ノ視野トヲ比較スルコトヲ得、然レモ此法ハ唯一ノ豫備試験ニ過キス、其詳細ニ至リテハ視野計ニ頼ルニ非ス

シハ能ハス

プルキニエー氏ノ映像 Purkinje's Bilder.

醫ハ一箇ノ點火シタル蠟燭ヲ手ニ持テ患者ト相對坐シ、之ヲ其眼前適宜ノ處ニ持來ルルハ眼ニ三箇ノ映像ヲ生ス、此三像中甲ハ直像ニシテ最モ鮮明ニ、乙ハ全シク直像ナレトモ較ヤ不鮮明ニ、丙ハ倒像ニシテ亦タ太々不鮮明ナリ、蓋シテ甲乙兩像ハ凸面鏡ト同一ノ効力アル角膜前面及水晶體前面所屬ノ映像、丙ハ凹面鏡ト効用相均シキ水晶體後面(後水晶體)所屬ノ映像ニシテ、所謂プルキニエー、サンソン氏ノ映像是ナリ

此三箇ノ映像現存スルルハ即チ是レ水晶體其固有ノ位置

ニ在ルヲ證シ、此像ヲ缺テ而シテ全時ニ高度ノ遠視アルキハ則チ水晶體缺乏症 Aphakia ノ證ナリ

遠視眼 Hypermetropia(H.)

(原因) (壹) 眼球前後徑(即チ矢狀軸)ノ矮小 (貳) 水晶體缺乏症

(定義) 併行光線網膜以後ニ於テ一點ニ集合スル狀態是ナリ(故ニ調節ヲ弛緩スルキハ遠近兩距離ニ於テ共ニ物體ヲ明視スルコト能ハス)

(結果) 水晶體ノ屈折力ヲ強大ナラシメンカ爲メニ間斷ナク毛様筋ヲ勞役ス、故ニ細事業ヲ執ルノ際、動モスレハ眼精ノ疲勞ヲ生ス所謂調節性眼精疲勞 Accommodative Asthenopia 是ナリ

(種類) 發現遠視ト潜伏遠視(調節筋收縮ノ爲メニ)トノ和ヲ全遠視(Manifeste H+latente H=totale H.)ト云フ、普通ノ視力試驗ヲ行フニ當リ凸面レンズヲ用テ證明シ得ルハ即チ發現遠視、アトロピン點眼後又ハ直像検査ニヨリテ發見セラル、ハ即チ全遠視ナリ、然レモ潜伏遠視ハ年齢ノ進ムニ隨テ漸々發現シ、一定ノ齡ニ達スルキハ其全部悉ク發現ス(治法) 遠見ノ際ニハ通例凸面眼鏡ヲ用フルノ必要ナシ、獨リ近接ノ物體ヲ明視セント欲スルニ當テハ其事業ノ種類、距離及ヒ年齢ニ應シテ適當ノ凸鏡ヲ與フ

近視眼 Myopia (M.)

(原因) 前後徑ノ延長(素因概テ先天性ニシテ之ヲ軸性近視

Axen-Myopia (トマノ) 水晶體ノ光線屈折力増加(所謂屈曲性近視 Krümmungs-Myopia) 圓錐形角膜、後葡萄腫、鞏膜脈絡膜炎等(症候) 併行光線ハ網膜以前ニ於テ已ニ一點ニ集合シ、後更ニ開散スルカ故ニ網膜面ニ於テ暈圈ヲ形成ス、故ニ遠隔ノ物體ハ朦朧トシテ鮮明ナラス

(診斷) 眼球長大ニ一見突出症アルカコトク、前房深ク、瞳孔大ナリ、矯正眼鏡ヲ脱シテ遠處ヲ望ムルハ忽チ眉間ニ皺襞ヲ生シ、眼瞼破裂ヲ縮少シ、物體ノ不明ヲ訴フ、然レモ物體ヲ眼ニ接近スレハ至細ノ文字ヲ讀ミ得、適宜ノ凹鏡ヲ裝用スルルハ遠見亦々常人ノ如ク、視力完全ナリ(視力不完全ナルハ即チ是レ合併症アルノ徴ナリ)

(治法) 凹鏡ノ幫助ニヨリテ併行光線ヲ適宜ニ開散シ、以テ

網膜面ニ於テ一點ニ集合セシム
注意！輕度ノ近視ニハ遠見用トシテ可及的輕度ノ凹鏡ヲ與ヘ近用ニハ眼鏡ヲ與ヘス、稍ヤ高度ノ近視ニハ遠見用トシテ最輕度ノ矯正眼鏡ヲ裝ヒ、近見用ニハ更ニ之ヨリモ一層輕度ノ凹鏡ヲ與フ、最高度ノ近視ニ至テハ遠見用ニハ眼鏡ヲ與ヘス、唯近見用トシテ中等ノ凹鏡ヲ與フ、其ノ合併症アルモノニハ往々眼鏡ノ使用ヲ禁シ、専ラ保養ニ從事セシムルノ必要アリ

亂視眼 Astigmatismus(As.).

(定義) 互ニ正角ヲ形成シテ相交ヌル所ノ二箇ノ主子午線(一子午線鉛直ナレハ他ハ地平ニ在ル)類各其屈折狀態

ヲ殊ニス、故ニ一點ヨリ射來スル光線ハ何レノ處ニ於テモ終ニ一點ニ集合スル能ハス、

(原因) 稟賦尤モ多キニ居ル(約二%)、遠視性亂視最モ多ク近視性亂視ハ稍ヤ罕ナリ、

後天性ニハ角膜ノ癍痕及翳圓錐形角膜、水晶體ノ脱位又ハ變位等

(種類) 不正亂視ハ不治ノ症ナルカ故ニ措テ問ハス、正亂視ヲ單純複雜混淆ノ三種ニ別ツ、即チ單純亂視(Einfacher As)トハ一子午線正視ニシテ之ト交叉スル子午線近視(然ルキハ之ヲ近視性亂視 Einfachmyopischer Asト云フ)又ハ遠視(所謂遠視性亂視 F. hyperopischer As)ノ状態ヲ呈シ、複雜亂視(Zusammengesetzter As)ニ在テハ兩子午線共ニ近視又ハ遠視ナルモ

其度ニ不同アリ、混淆亂視(Gemischer As)ニハ一子午線近視ナレハ他子午線遠視ノ状態ヲ呈ス

(結果) 視力ノ不完全及ヒ細事業ニ伴發スル眼精ノ疲勞等是ナリ

(診斷) ショワール氏ノ「ラフタルモメートル」Javal's Ophthalmometer ケラトスコープ 角膜鏡、檢眼鏡就中キチー氏ノ陰影檢査法等ニ由テ之ヲ證明シ、或ハ裂孔板ヲ用キテ兩主子午線ヲ交番ニ隠蔽シ、而後球面レンズヲ裝用シテ以テ其屈折状態ヲ檢定ス、之レ日常生活間ニ行ハル、普通一般ノ試驗法ナリ

(治法) 單純亂視ハ單ニ一箇ノ凸面又ハ凹面圓錐鏡ヲ用テ矯正シ、複雑亂視ハ凸面又ハ凹面球鏡ニ凸面又ハ凹面圓錐鏡ヲ伍用シテ之ヲ矯正シ、混淆亂視ハ凹凸二種ノ圓錐鏡ヲ

併用シテ之ヲ矯正ス

調節麻痺 Accommodationslahmung.

(原因) アトロピン、シコボアジン、ヒラスチン、ヒラスチャミン、スコポラミン、エフェドリン、ホモアトロピン等各散瞳薬ノ効用一二魚類及ヒ菌ノ中毒、梅毒、痲質斯、治弗的里及ヒ一二熱性病等ニヨリテ來ル

(症候) 瞳孔散大、小視 Micropsie (物體ノ實形ヨリモ稍ヤ小サク見フル症ニシテ殊ニ偏眼麻痺症ニ在テ此訴ヲ聞ク)、行歩困難、近點ノ隔離ニ因スル近見困難又ハ不能(學齡ノ兒女突然讀書スル能ハスト訴フル者多クハ治弗的里後ニ發スル本症ナリ)、

(治法) 先ツ原因ニ着目シ、對症療法トシ、エゼリンノ點眼、平流電氣等ヲ處シ、一時補給ノ目的ヲ以テ強キ凸面鏡(仕事ノ種類、年齡、屈折狀態等ニ關係アルヲ明ナリ)ヲ與フヘシ
(豫後) 重病後又ハ梅毒ニ因テ發スルモノハ概テ佳良、腦脊髓ノ疾患ニ原因スルモノハ不良ナリ

調節痙攣 Accommodationskrampf.

(原因) 遠視眼ハ、不斷調節ヲ使役スルノ必要アルカ故ニ最も多ク之ヲ見ル、近視ニハ極メテ罕ナリ
(症候) 瞳孔縮少及ヒ之ニ伴ハル、諸症
(治法) 平素凸鏡ヲ用キテ以テ遠視ヲ矯正シ、發作時ニハアトロピンノ點眼ヲ行フ

老視眼 Presbyopia(Pr).

(原因) 水晶體ノ彈力ハ年々歳々減却シテ會テ底止スルコト無シ故ニ眼ノ近點亦隨テ年々眼ヲ距レサルヲ得ス近點ノ距離二十二仙迷以上ニ至ルキハ則テ命スルニ老視眼ノ名ヲ以テス、

老視ハ固是レ生理的狀態ナリ、遠視眼最モ早ク此症ヲ發シ正視眼之ニ亞ク、高度ノ近視眼ニ至テハ畢世之ニ罹ルコト無シ

(症候) 遠見ハ毫モ障礙ナキモ接近物體殊ニ細小文字等ヲ讀マント欲スルキハ之ヲ眼ヨリ遠クルニ非スンハ能ハス殊ニ人工光線ヲ用フルノ際ニ於テ然リ是レ瞳孔ノ散大スルニヨル、故ニ老視ノ人ハ知ラス識ラス書物ヲ眼ト燈火ノ間ニ持シ、其光線ノ刺戟ニヨリテ以テ瞳孔ヲ縮小セシムルヲ計ル

(治法) 適宜ノ眼鏡ヲ與フルニ在リ、即チ正視眼ニ在テハ唯調節ノ不足ヲ補給スルヲ度トシ、遠視眼ニ在テハ此外更ニ其遠視矯正ノ度ヲ加ヘ、輕度ノ近視眼ハ弱度ノ凸鏡ヲ與フルカ或ハ無鏡ニテ足ルモノアリ

弱視 Amblyopia

(定義) 中心視力ノ定度ニ充タサル狀態ヲ謂フ

(種類) スコトーマ Scotoma ハ邦語ニ黒點或ハ黒斑ト云フ視野ノ一部缺損スルノ謂ナリ

半盲 又 半視症 Hemianopsia s. Hemioptia トハ視野ノ一半缺損ス

ルヲ謂フ

視野縮小症 *Einengung des Sehfeldes* ニ在テハ中心視力ハ比較的佳良ナルモ、其周圍ノ一帶ニ於テ視力不釣合ニ減少シ、其周圍ハ一面ノ暗黒世界ナリ、即チ視野ノ區域周圍ヨリシテ求心性ニ縮少セルヲ謂フ

失明 *Anaurosis* ニ二種アリ、其晝夜暗明ノ辨識アルヲ單性失明 *A. simplex* ト云ヒ、明暗ヲモ區別シ能ハサルヲ完全失明 *A. totalis s. absoluta* ト云フ

(原因) 腦出血、腫瘍等ノ爲ニ發スル神經損傷、小腦ノ損傷、脊髓勞、貧血、阿兒固保兒、鉛、阿片、ニコチン等ノ中毒、糖尿病、寄生蟲癩痢、神經痛等ニ因スル反射作用

(治法) 原因療法!

夜盲症 *Hemeralopia.*

(原因) 過劇ノ光線ニヨリテ起リタル網膜痴鈍症、貧血及不攝生ニ因スル榮養不良ノ結果トシテ來ル結膜乾燥症、色素性網膜炎及視神經瘦削症

(症候) 太陽地平線以上ニ存スル間ハ視力佳良ナルモ、黄昏ニ至レハ輒チ四望暗黒トナリ行歩スルヲ能ハス、晴天白日ト雖モ患者ヲ暗室ニ誘致スルキハ乃チ夜間ニ於ケルト同一ノ現象ヲ生ス、而シテ瞳孔ハ白日ニ在テモ多少散大ノ傾アリ

(豫後) 一時過劇ノ光線ニヨリテ疲勞シ又ハ結膜疾患ニ起因スルモノハ概チ全治ス、色素性網膜炎等神經元質ノ器質

的變常ニヨリテ起リタル症ハ到底不治ナリ

(治法) 勉メテ原因ヲ除クヘシ、就中乳兒故アリテ母乳ヲ仰クヲ能ハサル場合ニ米粉汁又ハ飴ヲ以テ乳汁ノ代用品トナス者往々之アリ、斯ル場合ニ善良ノ牛乳ヲ與ヘテ失明ヲ救ヒタルノ實驗ハ枚擧ニ遑アラズ

色盲症 *Farbenblindheit*

(定義) 稟賦又ハ後天疾病ノ爲メニスベクトルム中ノ各色ヲ辨識スルヲ能ハサル状態ヲ謂フ

(種類) 諸色擧テ辨識スルヲ能ハス唯灰色ノ濃淡ノミヲ認知スルヲ完全色盲症 *Totale Farbenblindheit* ト云フ、斯種ノ眼ハ彩色畫ヲ視テ恰モ寫眞銅板畫ト同一ノ看アリ

辨色力ノ一部缺損セルヲ局部色盲症 *Partielle Farbenblindheit* ト云フ、其赤綠二色ヲ辨シ能ハサルヲ赤綠盲 *Rotgruenblindheit* ト云ヒ青黃二色ヲ辨セサルヲ青黃盲 *Blaugelbblindheit* ト云フ
(原因) 遺傳性トナリテ來ルモノ太タ多シ、又一二ノ疾患就中視神經ノ病ニハ屢々本症ヲ目撃ス

斜視 *Strabismus*

(定義) 一眼正位ニ在テ而シテ他眼上下又ハ左右ノ一側ニ偏倚シ、兩眼單視ノ作用ヲ營爲スルヲ能ハサル状態ヲ謂フ
(種類) 不正位眼鼻側ニ偏倚スルヲ内斜視又輻湊斜視(*Str. internus s. convergens*) ト云ヒ、顫顫側ニ偏スルヲ外斜視又開散斜

視 Str. externus s. divergens ト云ヒ、上方ニ偏スルヲ上斜視 Str. sursumvergens 下方ニ偏スルヲ下斜視 Str. deorsumvergens ト云フ、甲乙二種尤モ多ク、丙丁ハ共ニ稀有ナリ
 一眼ノミ斜視スル之ヲ偏眼斜視 Str. unilateralis ト云ヒ、兩眼交番ニ斜視スルヲ交代性斜視 Str. alternans ト云ヒ、時ニ發シ時ニ隠ル、ヲ時發性斜視 Str. periodicus ト云フ
 (特徴) 視軸ヲ何レノ方位ニ移轉スルモ兩眼均一ノ共同運動ヲナシ會テ斜視角ヲ増減スルコト無ク、且ツ何レノ方位ニ於テモ複視セス
 (原因) 内斜視ノ最大多數凡ソ七十五%ハ遠視眼ニシテ外斜視ノ最大多數畧ホ全上ハ近視眼ナリ、故ニ斜視ト眼ノ屈折状態トハ互ニ密着ノ關係ヲ有スルコト毫モ疑ナシ

(治法) 三菱鏡、實體鏡等ヲ賞用スル者アルモ實際ニハ奏効無シ、唯々外科的手術ノ一法アルノミ

眼筋麻痺 Paralyse der Augenmuskel.

(定義) 主宰神經ノ麻痺ニ因スル眼筋ノ運動不能ヲ稱シテ單ニ眼筋麻痺ト稱ス

(種類) 眼筋悉ク麻痺スルキハ之ヲ眼麻痺又ハ完全麻痺 Ophthalmooplegia s. totale P. ト云ヒ、其二筋ノミヲ侵スヲ局發麻痺 Partielle P. ト云ヒ、内筋悉ク麻痺スレハ之ヲ内眼麻痺 O. interna ト云ヒ、外筋悉ク麻痺スレハ之ヲ外眼麻痺 O. externa ト云フ
 (症候) (甲)滑車神經麻痺 P. des Trochlearis.

上斜筋ハ眼球下方ト外方ニ旋轉シ、鉛直子午線ノ上縁ヲ内

傾ス故ニ此筋麻痺スルキハ正面及上方ニ於テハ運動障礙
ナク、下方ヲ俯視セント欲スルニ當テ眼球命ヲ奉スルコト
能ハス上方ニ殘留ス

視野ノ下半部ニ於テ同名複視ヲ生シ、假像ハ眞像ヨリモ少
シク下方ニ位シ且ツ其上端稍ヤ内傾ス、而シテ其高低ノ差ハ
内下轉ト共ニ増加シ、傾斜ノ度ハ外轉ト共ニ増加ス

〔乙〕外旋神經麻痺 P. des Abducens.

外直筋ハ眼球ヲ外旋ス、故ニ此筋麻痺スルキハ正面及鼻側
ニ於テ運動障礙ナシ、然レモ麻痺側(外側)ヲ固視モントスル
モ眼球隨伴スルコト能ハス正中線ニ停止ス

視野ノ外半側(麻痺側)ニ於テ同名複視ヲ生シ、真假兩像間ノ
距離ハ外側ニ至ルニ隨テ益々増加ス

患者複視ノ煩ヲ避クルカ爲メニ偏眼ヲ閉ツルカ否ラザレ
ハ頭ヲ強ク麻痺側ニ捻轉ス

〔丙〕全動眼神經麻痺 Totale Oculomotoriuslähmung.

上眼瞼下垂シ、眼球強ク外轉シ且少シク下轉(外直筋及上斜
筋ノ爲メニ)、上内下三方ニ向テノ運動全ク缺損シ、瞳孔散
大シ、調節機能停止ス

〔丁〕上直筋麻痺 Lähmung des Rect. superior.

上直筋ハ眼球ヲ上方ト内方トニ旋轉シ鉛直子午線ノ上端
ヲ内傾ス、故ニ此筋麻痺スルキハ正面及下方ニ向テ運動障
碍ナク、上方ヲ仰視スルニ當テ患眼停止ス

視野ノ上半ニ於テ異名複視ヲ生シ、假像ハ眞像ノ上ニ在リ
兩像高低ノ差ハ上外轉ト共ニ増加シ、傾斜ノ度ハ内轉ト共

ニ増加ス

(戊)下直筋麻痺 L. des Rect. inferior.

下直筋ハ眼球ヲ下方ト内方トニ轉シ鉛直子午線ノ上端ヲ外傾ス、故ニ此筋麻痺スルキハ正面及上方ニ向テ運動障礙ナク、下方ヲ俯視スルニ當テ患眼停止ス

視野ノ下半ニ於テ異名複視ヲ生シ、假像ハ真像ノ下ニ在リテ其上端外傾ス、兩像高低ノ差ハ下外轉ト共ニ増加シ、傾斜ノ度ハ内轉ト共ニ増加ス

(己)内直筋麻痺 L. des Rect. internus.

内直筋ハ眼球ヲ内旋ス、故ニ此筋麻痺スルキハ顛顛側ニ向テノ運動障礙ナシ、然レモ麻痺側(鼻側)ヲ固視セント欲スルキハ眼球停止ス

視野ノ内半側ニ於テ異名複視ヲ生シ、真假兩像間ノ距離ハ内側ニ至ルニ隨テ益々増加ス

眼球震盪症 Nystagmus.

(定義) 不随意ニ發スル眼球ノ痙攣性震動ヲ云フ

(種類) 最モ多ク見ル所ノ症ハ所謂地平震盪症 N. horizontalis ニシテ車輪様震盪症ハ稍ヤ稀有ナリ

(原因) 天稟ノ弱視、色素性網膜炎、先天性白內障、腦ノ出血、軟化又ハ硬化症、破山工夫

(豫後) 外科手術ヲ行フモ治愈ノ望ナシ、屈折異常アレハ之ヲ矯正シ且適宜ノ職業ヲ撰定セシムヘシ

眼底検査法 Ophthalmoscopie.

眼底ヲ検査スルノ法ニアリ、甲ヲ直像検査ト云ヒ、乙ヲ倒像検査ト云フ、兩法共ニ得失アリ、甲ニ在テハ視野狹隘ニシテ一時ニ廣大ナル面ヲ視察スルコトヲ得サルモ増大ノ強キカ爲メニ緻密ノ検査ヲ遂クルニ適ス、乙ニ在テハ視野比較的ニ廣大ナルノ利アレ、モ増大ノ力弱キカ故ニ緻密ノ検査ヲ行フニ適セス、乃チ甲乙二法兩々相待テ而シテ始メテ完璧タルコトヲ得ルナリ

〔甲〕直像検査法 Untersuchung im aufrechten Bilde ハ下ニ出ツ

〔乙〕倒像検査法 U. im umgekehrten Bilde.

醫士ハ患者ト相對坐シ、兩者ノ眼ハ略ホ同高ナルヲ要ス、燈火ハ患者ノ側方ニシテ稍ヤ後方ニ偏スルヲ宜シトス、燈火

ト被檢眼ノ間ニ鑲屬製ノ中隔板ヲ置ク、今ヤ醫士ハ右手ニ檢眼鏡ヲ持シテ之ヲ自家ノ右上眼窩縁ニ當テ、固定シ、中心孔ヨリ被檢眼ヲ覗キテ其瞳孔ニ光線ヲ透致シ、之ト同時ニ凸面レンズ(通例十三D)ヲ左手ノ拇示兩指間ニ持シ、小指又ハ環指ヲ患者ノ前額ニ加ヘテ固定シ、鏡ト眼ノ中間ニ持來リ、之ヲ進退シテ以テ眼底ヲ明視スルニ至ル、角膜反射像ヲ避ケント欲セハ、レンズヲ少シク上下左右ニ傾斜シ且輕易ノ車輪運動ヲナスヘシ、患者ノ右眼ヲ檢セント欲セハ醫士ノ右耳ヨリ稍ヤ外側ノ遠處ヲ、左眼ヲ檢セント欲セハ其左耳ノ外側ニ於ケル遠處ヲ瞻望セシムヘシ、此相互ノ位置ニ於テ瞳孔ヲ望メハ即チ乳頭ヲ明視スルコトヲ得

已ニ乳頭ヲ明視スルキハ其周圍ノ網膜、中心動靜脈、黃斑部
及ヒ網膜ノ周圍等ヲ漸次ニ検査スヘシ

屈折検査法 *Untersuchung der Refraction.*

眼ノ屈折状態ヲ檢定スルニ二法アリ、甲ハ患者ノ自白ニヨ
ルカ故ニ之ヲ自覺的検査法ト云ヒ、乙ハ患者ノ自白如何ニ
關セス醫士ノ所見ニヨルカ故ニ之ヲ他覺的検査法ト云フ
此二法モ亦々兩々相俟テ而シテ完璧トナル

(甲)自覺的検査法 *Subjective Methode.*

患者兩眼ヲ有スルキハ必ス先ツ其ノ視力劣等ナル一眼ヲ
隠蔽シテ偏眼ノ視力ヲ檢シ、而後他眼ヲ檢スルヲ法トス即
チ試視力表ノ最大記號ヨリ始メテ漸々下行シ最小記號ニ

至ル當初ヨリ結局マテ總テ正當ノ答辯ヲ得タルキハ正視
又ハ輕度ノ遠視ナリ、中途ニシテ答辯澁滯スルキハ先ツ凸
鏡ヲ試用シ、之ニ由テ最少記號ヲ明視シ得ルキハ即チ是レ
遠視眼、凹鏡ヲ裝用シテ最小記號ヲ明視シ得ルキハ則チ近
視眼ナリ

凸凹兩鏡共ニ無効ナルキハ是レ亂視又ハ折光體、眼底等ニ
疾患アルモノト假定スヘシ

遠視及近視共ニ調節筋ヲ努力シテ以テ詐偽ノ告白ヲ爲ス
ノ之アリ、是レ自覺的検査法ノ短處ナリ

(乙)他覺的検査法 *Objective Methode*

(伊)直像検査法 併行光線網膜面ニ於テ一點ニ集合シ、網膜
面ヨリ眼以外ニ謝出スル光線互ニ併行スル状態ヲ正視眼

ト謂フ、正視眼ノ檢者此眼底ヲ望ムキハ則チ之ヲ明視スルヲ得ン、反之眼底像不明ナルキハ檢眼鏡ノ裡面ニ凸面又ハ凹面、レンズヲ裝用スヘシ若シ凸面、レンズニヨリテ謝出光線併行スルキハ則チ遠視、凹面、レンズニヨリテ併行スルキハ則チ近視ニシテ其、レンズノ度ハ即チ被檢眼不正視ノ度ヲ示スモノナリ

〔五〕陰影検査法 Skiascopic, Schattensprobe.

醫士ト患者ハ凡ソ一メートルノ距離ニ於テ相對坐シ、直像検査ヲ施行スルト同一ノ方法ニヨリ先ツ反射鏡ヲ用キテ患者ノ瞳孔ヲ輝照ス、既ニ瞳孔赤色ヲ放ツキハ反射鏡ノ縱軸ニ沿テ輕々之ヲ左右ニ回轉スヘシ、此際瞳孔ノ陰影ハ必ス反射鏡ト同名又ハ異名ノ運動ヲナスヘシ、所用ノ反射

鏡凹面鏡ニシテ而陰影ノ運動之ト同名ナルキハ近視、異名ナルキハ遠視眼若クハ正視眼ナリ
所用ノ反射鏡平面鏡ナルキハ陰影ノ運動ハ恰モ凹面鏡ト正反對ナリ

眼鏡撰定法 Brillenwahl.

中心視力六分ノ六 $\frac{6}{6}$ 即チ六メートルノ距離ニ於テ試視力表ノ第六號ヲ明視シ得ルキハ正視又ハ輕症遠視ナリ、之ヲ確定センニハ最弱度ノ凸鏡ヲ試用スヘシ、之ニ由テ視力一層明瞭ナルカ否ヲサレモ同等ナルキハ則チ遠視眼ノ確徴ナリ

已ニ完全ノ視力ヲ得タルキハ更ニ普通ノ讀書距離即チ二

十仙迷約八ツ^ルノ處ニ於テイエーダ^ル氏視力表ヲ與ヘテ之ヲ檢スヘシ此際若シ表ノ第壹號又ハ第貳號ヲ讀ミ能ハサルハ四十年未滿ノ人ニ在テハ調節麻痺四十年以上ノ人ニ在テハ老視眼アルノ徵ニシテ共ニ適宜ノ凸面鏡ヲ用フルノ必要アリ

裸眼ノ視力ハ極メテ不完全ナルモ之ニ凹鏡ヲ與ヘテ直ニ視力ノ増加スルハ即チ是レ近視眼ノ確徵ナリ

近視ノ人ハ其近見ノ機能完全且自在ナルモ其遠見ハ矯正眼鏡ヲ使用シテ尙且極メテ不完全ナルヲ往々之アリ

凸凹兩鏡共ニ較著ノ効ヲ奏セサルハ則チ圓錐鏡ヲ試用シテ以テ亂視ノ有無ヲ檢定スヘシ

球面鏡圓錐鏡ノ外ニ三菱鏡ナルモノアリ主トシテ内直筋

ノ作用不全症ニ其基底ヲ内向シテ裝用ス、陳舊ノ斜視眼ニ之ヲ應用スルモ寸効アルコト無シ

第貳節 眼病ノ病理及治法

Pathologie und Therapie der Augenkrankheiten.

結膜 Conjunctiva.

加荅兒性結膜炎 Conjunctivitis katarhalis.

(素因) 腺病質、兒齡、冷濕ノ氣候

(原因) 氣候ノ劇變、過劇ノ光線(殊ニ人工光線)、刺戟性ノ瓦斯、異物、近隣諸部ノ疾患、涙液排泄ノ故障、調節機ノ過役、屈折異常、顏面神經麻痺等

(症候)

〔伊〕 結膜充血 初期ニハ眼瞼結膜ノミニ限局スレトモ後ニハ漸々眼球結膜ニ蔓延シ然ルキハ眼球加苔兒 Oph-thalmokatharh ト云フ) 病勢猛烈ナルキ角膜ノ周圍ニ於テ強キ眼球結膜ノ腫脹ヲ生ス之ヲ結膜浮腫 Chemosis ト云フ

〔呂〕 眼瞼ノ皮膚發赤腫脹シテ皴裂消亡シ時トシテハ肌熱少シク亢進ス

〔波〕 異物ノ感覺 眼中ニ砂粒ノ存在スルカ如キ一種違和不快ノ感覺アリ

〔仁〕 分泌旺盛 當初ハ稀薄液中僅カニ少許ノ粘液ヲ混シ睡眠中睫毛ヲ密封ス故ニ朝起ノ際直ニ開瞼スルヲ能ハス後ニ至レハ漸々膿液ヲ混シテ濃厚トナリ時ニ角膜面ニ

附着シテ霰輪ヲ生シ大ニ視機ヲ妨ク

〔保〕 羞明、流淚、灼熱、搔痒等ノ諸症ヲ呈ス

(經過)

〔伊〕 消散 一二週ノ後自覺的症候先ツ輕快シ、尋テ他覺的症候亦タ漸々消散シテ治癒ス

〔呂〕 慢性炎症 病氣荏苒彌久スルキハ終ニ慢性炎ニ變遷ス、本症ハ極メテ困難少ナク充血輕易分泌亦タ微量ナレハ僅小ノ外來刺戟ニ逢ヘハ輒チ又忽然新發作ヲ生シ急性炎ノ状態ニ復ス

(合併症) 加苔兒性角膜ノ潰瘍(就中邊緣潰瘍 Randgeschwuer殊ニ多シ)、虹彩充血、

(治法) 先ツ原因ヲ除クコトヲ勉メ、局部ニハ〇、五%乃至一

3%ノ硝酸銀液、全量ノ硫酸亞鉛液等ノ點眼、3%ノ硼酸水ノ冷罨法(若シ角膜潰瘍ノ合併症アレハ温罨法ヲ行ヒ、虹彩充血アレハ、アトロピンヲ點眼シ、傍ラ内服ニ鹽類軟下劑ヲ投シ以テ通利ヲ計ルヘシ)

水泡性結膜炎 一名結膜濕疹

Conj. phlyctenulosa s. Eczema conjunctivae.

(原因) 腺病質、麻疹、猩紅熱ノ初期、百日咳、全身ノ營養不給、濕氣

(症候) 頑固ノ羞明、眼瞼痙攣症、流淚アリテ患者明處ニ在ルヲ厭ヒ成ル可ク光線不足ノ暗室ヲ撰ヒテ其一隅ニ蟄伏シ、手背ヲ以テ眼ヲ隱蔽ス、既ニ角膜輪ニ小大不同ノ小丘狀

隆起ヲ生ス、所謂水泡是ナリ、此疹或ハ一箇孤立シ(然ルキハ巨大)或ハ數箇並列(然ルキハ細小)スルコトアリ、近隣ヨリ多數ノ結膜血管之ニ向テ集中ス

水泡疹時トシテ純乎タル膿疱疹ヲ生ス、然ルキハ之ヲ邊緣膿疱疹(Randpustelト云フ)ニ向テ血管ノ叢生シ來ルハ是レ病勢挫折ノ已ニ再生期ニ移リタルノ證ナリ故ニ之ヲ稱シテ再生「パンヌス」Reparationspannus又ハ水泡性「パンヌス」Pannus phlyctenulosusト云フ、時トシテ此疹ヨリ潰瘍ヲ發生スルコトアリ(豫後) 治癒ニ向テハ概ネ佳良ナリ、即チ水泡疹ハ痕跡ヲモ遺サスシテ消散シ、角膜潰瘍ハ僅ニ薄翳ヲ遺シテ治ス、然レモ本病ハ再發シ易キ傾向アリ
(合併症) 眼瞼緣炎、眼瞼外皮ノ濕疹、眼瞼内翻症又ハ外翻症

等ナリ

(治法) 第一着ニ羞明ヲ除クヲ要ス、其法大ナル盥器ニ冷水二三升ヲ盛り、患者ノ顔面ヲ水中ニ浸スコト數秒時之ヲ數回反復シテ而後乾キタル手拭ヲ以テ顔面ヲ拭清ス、此法ヲ反復スルヲ一日五六回ニ及フキハ頑固ノ羞明モ數日ニシテ之ヲ蟬脫スヘシ、蓋シ此灌水法ノ妙効アルハ一ハ皮膚知覺神經ニ直達スル寒冷ノ刺戟、一ハ恐怖驚愕ノ精神刺衝ニヨリテ一時眼瞼痙攣ノ弛緩スルニ由ルナラン

本症ノ合併症トシテ發スル眼瞼外翻症ハ之ヲ自然ニ放擲スルキハ遂ニ眼瞼ノ壞疽ヲ發スルコト之ナシトセス、之ヲ治スハ亦彼ノ灌水法ノ右ニ出ツルモノナシ、結膜腫脹ノ太甚タシキモノニ在テハ綿球摩擦法ニヨリテ瀉血スルモ亦タ

妙ナリ

局部ニハ「アトロピン」ノ點眼、防腐劑ノ微温卷法ヲ施シ、甘汞細末ヲ散布シ、黃降汞「ワゼリン」ヲ點入シ、角膜潰瘍ニ對シハ其處置(下ニ出ツ)ヲ施シ、内服ニハ沃鐵舍利別、肝油ヲ與ヘ、多量ノ牛乳、肉羹汁等ヲ給シ、全身ノ灌水法ヲ施シ、再發ノ豫防トシテハ患者ヲ大磯、鎌倉、興津等ノ海水浴又ハ伊香保、鹽原箱根等ノ温泉場ニ送リテ以テ身體ノ營養ヲ改良スヘシ

膿漏性結膜炎 *Blennorrhoea conjunctivae*

(種類) 患者ノ年齢ニヨリテ之ヲ嬰兒膿漏眼 *Bl. neonatorum* 及ヒ大人膿漏眼 *Bl. adultorum* ノ二種ニ區別ス、然レモ齊シクナイセル氏淋病菌ニ起因ス

(原因) 嬰兒膿漏眼ハ胎兒產道ヲ通過スルノ際母體ヨリ感受シ(罕ニ分娩後産婦不潔ノ手ニ觸レテ感染シ又ハ不潔ノ産婆ヨリ傳染スルヲアリ)大人膿漏眼ハ自家尿道炎ノ膿ヲ過テ眼ニ入ルヽニ由ル

(症候)

第一期即浸潤期 Stadium der Infiltration

眼瞼皮膚發赤腫脹シ、肌熱亢進シ、眼瞼結膜ニ高度ノ充血アリ、眼球結膜太タク浮腫シテ角膜縁ヲ堤狀ニ圍繞ス、流涙滾々稀薄ノ粘液ヲ混ス、疼痛羞明アリ、又々間頭痛ヲ發ス

第二期即膿漏期 Stad. der Blennorrhoe.

瞼裂領ハ濃厚ノ膿ヲ以テ填充セラレ、之ヲ開ケハ角膜全面亦々膿液中ニ浸サル、是レ本病ニ膿漏眼ノ名アル所以ナリ、

此期幸ニシテ合併症ナク佳良ノ經過ヲ取ルルハ失明ヲ免カル、反之一旦角膜ニ浸潤ヲ生シ潰瘍四面ニ蔓延スルルハ角膜軟化症ニ陥リテ遂ニ失明ス

第三期即恢復期 Stad. der Heilung

諸症漸々緩解シ、分泌減少シ、僅ニ乳瞷體ノ肥大ヲ認ム、(豫後) 方今ノ眼科ハ昔日ノ如キ多數ノ失明者ヲ出ス、ナシ、即チ治方宜シキヲ得ルルハ概テ之ヲ救フ、ナシ、得、然レモ之ヲ自然ニ放擲スルルハ極テ危険ナリ

(治法) 本病ニハ殊ニ豫防ノ必要アリ、即チ嬰兒ニハ初浴後直ニ二%硝酸銀液一滴ヲ點眼ス所謂クレデー氏豫防法是ナリ、大人ノ淋病ニ罹ル者ニハ具サニ本病ノ危険ヲ説キ其已ニ一眼本症ヲ發スル者ニハ他眼ノ豫防法ヲ怠ル可カラ

ス
 病眼ニ對スルノ處置ハ時期ニヨリテ不同アリ即チ
 第一期ニハ防腐液(三%硼酸水又ハ五千倍ノ昇汞水等)ノ冷
 罨法、水罨法ヲ主トシ、内服ニハ鹽類ノ緩下劑ヲ與ヘテ以テ
 便通ヲ利ス
 第二期ニハ一乃至三%ノ硝酸銀液ヲ軟毛水筆ニテ翻轉シ
 タル結膜面ニ塗布シ、食鹽水ヲ用テ其ノ剩餘ヲ中和シ、後チ
 清水ニテ洗滌ス、此法毎廿四時間ニ一回、側ラ、アトロピンノ
 點眼、防腐液ノ冷罨法(角膜潰瘍アレハ温罨法)ヲ行フ(罨法ハ
 間斷ナク之ヲ行ヒ膿液ノ滯留ヲ防ク)尤モ肝要ナリ
 第三期ニハ硫酸銅ノ物質ヲ用キテ肥厚セル乳嘴體面ヲ輕
 ク塗布スヘシ

「トラホーム」一名顆粒性結膜炎

Trachoma. s. Conj. granulosa.

(病理解剖) 穹窿結膜及ヒ眼瞼結膜殊ニ上眼瞼結膜ニ顆粒
 ヲ生ス、大サ粟粒大ニシテ蛙卵ノ如ク又「サゴ」粒ニ似タリ、
 顆粒ハ無數ノ圓形細胞、結締織及細血管ヨリ成ル、數月又ハ
 數年ノ後癒痕ヲ形成ス
 (症候) 急慢二種アリ、甲ハ諸症殆ント膿漏症ニ類シ、猛裂ノ
 炎症ヲ起シ、多量ノ膿樣分泌物ヲ生ス、斯ノ如キモノ數週ニ
 シテ後漸々慢性症ニ移行ス
 上眼瞼自家ノ重ニヨリテ下垂シ、角膜ノ上方ニ「パンヌス」及
 潰瘍ヲ生ス、長日月ヲ經テ結膜腺消耗シ所謂結膜乾燥症

rosis conjunctivae ヲ生ス其他眼瞼内翻症、睫毛倒生等ノ諸症ヲ繼發ス

(原因) 觸接感染ノ状態ヨリ察スレハ恐クハ微菌ナラン、然レモミッヘル、ザットレル氏ノ双球菌ハ未タ全ク他ノ攻撃ヲ免カレス

(豫防) 分離、清潔法

(治法) 分泌旺盛ナルキハ硝酸銀液(〇、五%乃至一%)ヲ塗布シ、稍々減却スルキハ硫酸銅物質ヲ用キテ結膜面ヲ塗布ス、藥物的治法ノ補助トシテ亂刺、壓搾、摩擦、切開、切除、電氣燒灼等ノ外科的手術ヲ行フ

近時エーグァース、ブッシュ氏ハ先ツ外眥成形術ヲ施シ、尋テ〇、二乃至三%ノジエクイリチー浸、五%ノ硝酸銀ヲ用キ、ハンヌ

スニハ沃陣、丁幾、黃降、汞軟膏ノ有効ナルヲ報告セリ亦是レ一試スヘキノ價値アリ

治弗的性結膜炎 Conj. diphtherica.

(原因) 咽頭治弗的ニ感染シテ發ス、故ニ其細菌ハ固ヨリ原病ニ於ケルト相同シ

(症候)

第一期即浸潤期 Stadium der Infiltration.

眼瞼外皮及ヒ結膜、浸潤ノ爲メニ硬固トナリ極メテ血液ニ乏シク、之ニ觸ル、キハ劇痛ヲ發ス

第二期即膿漏期 Stadium des Eiterflusses.

宛トシテ膿漏症ノ同期ニ似タリ(上文參看)

第三期即癥痕期 *Stad. der Vernarbung.*

結膜面ニ癥痕ヲ生シ、眼瞼ノ裡面ト眼球ノ前面互ニ相愈合スルコアリ所謂瞼球愈着症是ナリ

刺戟症候ハ發病當時ヨリ劇烈ニシテ殊ニ劇烈ノ疼痛アリ、炎症消散後概テ結膜乾燥症ヲ殘ス

(合併症) 本病ノ危險ナル所以ハ角膜潰瘍ヲ生スルコト多キノミナラス、一旦之ヲ發スルキハ殆ント救フ可カラサルニ在リ、往々第一期ノ初ニ於テ已ニ之ヲ發ス

(豫後) 角膜合併症ノ有無ニヨリテ吉凶ヲ判斷ス、概シテ不良ナリ

(治法) 第一期ニハ防腐液ノ冷番法ヲ行フ、第二期ノ處置ハ膿漏眼ノ同期ニ齊シク第三期ニハ主トシテ瞼球愈着ヲ豫

防スルニ在リ

發疹性結膜炎 *Conj. exanthematica.*

麻疹、痘瘡、猩紅熱等ノ初期ニ來ル炎症ノ總稱ナリ、其症狀經過等上文加苔兒性結膜炎ノ條下ヲ參看スヘシ

春季加苔兒 *Fruejahrskatarrh.*

本病ニ罹ル者秋冬ノ間ニ在テ毫モ因難ヲ感セス、春風胎蕩ノ候ニ至レハ乃チ流淚、充血、搔痒等ノ障礙ヲ生ス、故ニ名ク、數年ニ亘ル慢性病ニシテ眼瞼結膜ハ砌石ヲ敷キタル如ク、眼球結膜硬結節ヲ生ス、本症ハ幼若ノ男子ニ多シ、治方確効ヲ奏スルモノナシ故ニ對症療法ヲ行フノ外ナシ

翼狀膜 Pterygium.

(定義) 眼球結膜ノ一部角膜面ニ愈着シタルヲ云フ、概テ角膜ノ内外兩縁ニ發シ基底體ハ外方ニ、尖端(頭)ハ角膜中心ニ向フ、狀チ昆蟲ノ翼ニ肖タリ、故ニ名ク

(種類) 眞性假性ノ二種アリ、甲ハ必ス内外縁ニ發シ且ツ往々進行ス(進行性翼狀膜(Progressives P.))、反之乙ハ必スシモ上下内外ヲ問ハスシテ發シ且停止性ナリ、而シテ眞性翼狀膜ハ彼ノ脂斑 Pinguecula ノ進入ニヨリテ發シ、中年以上ノ勞働者殊ニ土工、石工、漁夫、獵夫等ニ多ク、假性翼狀膜ハ角膜ノ上皮缺損アルニ當テ眼球結膜弛緩スルキハ遂ニ相愈着シテ之ヲ生ス故ニ年齒ノ多少ヲ論セス且ツ絶ヘテ進行スルノ虞

ナシ

(治法) 手術ノ外妙法ナシ

結膜乾燥症 Xerosis conjunctivae.

(原因) 小兒腸間膜勞慢性下痢後、在檻囚徒、棄兒院、貧院等ノ粗食家ニ多シ、此等ハ皆ナ身體ノ營養不給ニヨリテ生ス、續發症トシテ「トラホーム」治弗的里ノ痕痕期ニ來ル、近時彼ノナイセル氏ハ一種ノ細菌ヲ發見シ之ヲ本病特異ノ起炎物ト爲セリ、然レモ是レ一場ノ茶話ニ過キス

(經過) 病、結膜ニ限局スルモノハ大危險ナシ、然レモ一旦角膜ノ軟化症ヲ發スルキハ概テ失明ニ終ル

(治法) 故アリテ母乳ヲ給與スルヲ能ハサルキハ佳良ノ生

牛乳ヲ與フヘシ、其他身體營養ノ恢復ヲ計リ、局部ニハ、アト
ロピン¹ノ點眼、温器法ヲ施スベシ
癥痕性乾燥症ニハ一モ確實ノ効ヲ奏スルモノナシ、乾燥不
和ノ感覺ヲ輕快セシムルノ目的ヲ以テ、乳汁ヲ點眼ス、根治
法トシテ、眼險縁ノ一部ヲ縫合スルノ法アリ

角膜 Cornea

角膜ノ疾患ヲ診定セント欲セハ、必ス先其ノ大小形狀、表面
ノ不平、粗滑、彎曲ノ強弱、透不透、知覺ノ存否等ニ注目スル
ヲ要ス

角膜ニ渾濁アルヲ發見セハ、其光線反射ノ有無ニ注意スヘ
シ、渾濁部ノ表面曇暗ナルハ新炎症、光輝アルハ陳舊病竈ナ

リ、物質缺損アルニ當テ、其面ノ曇暗セルハ不潔潰瘍、光輝ア
ルハ清潔潰瘍タルヲ表示シ、物質缺損ナキハ甲ハ新鮮ノ
浸潤ニシテ乙ハ陳舊ノ癥痕ナリ

角膜炎ヲ大別シテ無膿性及化膿性ノ二種トス

(甲) 無膿性角膜炎 Keratitis non
suppurativa.

此種ニ屬スル炎症左ノ如シ

「パンヌス」 Pannus.

(原因) 本症ハ決シテ獨立スルコトナク、必ス結膜炎症又ハ器
械的刺戟ニヨリテ發生ス、就中尤モ多キハ「トラホーム」ニ續
發スルモノニシテ「トラホーム」性「パンヌス」、P. trachomatous
ト云フ、其淋巴性結膜炎ニ續發スルヲ淋巴性「パンヌス」、P.

lymphaticus ト云ヒ眼瞼内翻症、睫毛亂生症等ニ續發スルヲ外
傷性「パンヌス」 P. traumaticus ト云フ

(種類) 「パンヌス」未タ太タ濃厚ナラスシテ優ニ虹彩ヲ透見
シ得ルモノヲ輕症「パンヌス」ト云ヒ、細剝セル肉片ヲ布キタ
ルカ如ク濃厚ナルヲ肉様又ハ肉腫様「パンヌス」 P. carnosus.
sarcomatosus ト云フ

(経過) 表層ノ「パンヌス」ニシテ未タボウメン氏膜ヲ毀傷セサ
ルモノハ毫モ渾濁ヲ遺サスシテ治癒ス、反之角膜實質ニ損
傷ヲ生スルハ必ス白色ノ翳ヲ遺シ、太甚タシキハ角膜擴
張症 Keratectasia ヲ生シテ喪明スルコトアリ

(豫後) 輕卒ニ佳良ナルヲ斷言スルコト勿レ

(治法) 主トシテ原因療法ヲ行ヒ、局部ニハ結膜環狀切除法

又ハ切開法、電氣燒灼法ヲ試ミ、最後ノ手段トシテビーリン
ゲル氏ノ淋病種接法又ハウヰツケル氏ノ「ジエグイリチー」浸(ジ
エグイリチー三、〇水一〇〇)點眼ヲ行フテ化膿性結膜炎ヲ
起サシメ、以テ其吸收ヲ催スノ法ヲ試ムヘシ、此法往々危險
アリ、濫用スル勿レ(上文エーヴァシニ氏ノ「トラホーム」療法ヲ參
着セヨ)

角膜實質炎 Keratitis parenchymatosa.

(原因) 遺傳梅毒最モ居多、其他腺病質

(症候) 先ツ角膜圍擁充血ヲ生シ、尋テ角膜緣邊ノ一部ヨリ
舌狀灰色ノ渾濁ヲ生シ、漸々中心ニ向テ進行ス、諸方ヨリ集
中シ來レル渾濁瞳孔領ニ於テ相會合スルハ即チ是レ病

勢已ニ絶頂ニ達シタルノ徴ナリ、自覺的ニハ流涙羞明等ノ刺戟症狀(或ハ輕ク或ハ重シ)ヲ發シ、視力甚タシク減少ス
 (合併症) 虹彩炎、脈絡膜炎
 (經過) 病勢進步一タヒ絶頂ニ達スルキハ則チ又徐々ニ輕快ス、即チ角膜邊緣ノ一部ヨリ渾濁吸收シ漸々中心ニ及フ其最僥倖ナル場合ニハ毫モ痕跡ヲ遺サスシテ雲散シ、否ラサレバ中心ニ薄翳ヲ留ムルコトアリ、發病ヨリ治癒ニ至ルニハ通例數月ヲ費シ、長キハ歲餘又ハ數年ニ亘ルコトアリ
 (豫後) ノ吉凶ハ刺戟症候ノ多少ニ正比例ス、即チ刺戟症候ノ強劇ナルハ是レ病勢猛烈ナルノ徴ナリ
 本病ハ兩眼ニ發スルヲ定規トス、故ニ偏眼ニ發病シテ治ヲ求ムル者アレハ豫メ第二眼ニモ同症ヲ發スヘキヲ説キ、渾濁ハ大抵雲散霧消シテ相當ノ視力ヲ恢復スヘキ見込アルコトヲ諭スヘシ、否ラサレハ患家多クハ倦怠ヲ生シ中途治療ヲ中止スルノ危険アリ

濁ハ大抵雲散霧消シテ相當ノ視力ヲ恢復スヘキ見込アルコトヲ諭スヘシ、否ラサレハ患家多クハ倦怠ヲ生シ中途治療ヲ中止スルノ危険アリ
 (治法) 全身療法トシ驅梅毒法(沃度劑、汞劑、就中水銀灰白軟膏ノ塗擦一日二乃至三〇倖効アリ)ヲ處シ、局部ニハ「アトロピン」ノ點眼(一日五六回、瞳孔極度ニ散大スレハ減シテ一日一二回トス)防腐液ノ温罨法ヲ施シ、刺戟症候緩解スレハ甘汞細末ノ散布、黃降汞「ワゼリン」又ハミトワルスキー氏軟膏(水銀軟膏ニ「ラノリン」及ヒ「ワゼリン」ヲ伍シタルモノ)ノ塗布ヲ行フ

帶狀角膜炎 Bandförmige Keratitis.

(原因) 本症多クハ慢性緑内障ノ變質期慢性虹彩脈絡膜炎ノ經過後等已ニ失明セル眼ニ發スルコト多シ

(症候) 角膜ノ險烈領ニ於テ廣サ三乃至五微迷許ノ横走スル帶狀渾濁ヲ生ス其色ハ灰白色ニシテ通例毛様充血及他ノ刺戟症候ヲ併發スルコトナシ

(豫後) 絶對的不良

(治法) 虹彩切除法ヲ試施スルモ無効ナリ

硬化性角膜炎 Sklerosierende Keratitis.

(原因) 上鞏膜炎

(症候) 鞏膜炎竈ヨリ三角形(基底外向シ尖端内向ス)ノ灰色渾濁漸次角膜ノ中心ニ向テ進行ス血管ヲ新生スルモ之ヲ

實質炎ニ比スレハ少數ナリ

(經過) 初發ヨリ治癒ニ至ルマテ數週ニ亘ル再發シ易シ然レモ決シテ潰瘍ヲ發スルコト無シ

(合併症) 虹彩炎、虹彩脈絡膜炎

(豫後) 渾濁ノ最大部分ハ吸収スルコト無シ然レモ幸ニ角膜ノ邊緣ニ止マリ中心(瞳孔領)ニ於テ光線射入ヲ妨クルコト少ナシ

(治法) 鞏膜炎ヲ治療スルニ在リ本條ヲ參看スヘシ末期ニ黃降汞、ワゼリンヲ塗布シテ渾濁ノ消散ヲ促ス

(乙) 化膿性角膜炎 Keratitis suppurativa.

此種ニ屬スル角膜炎症ハ左ノ如シ

角膜潰瘍 Ulcus corneae.

(原因) 諸般ノ外傷(就中異物腐蝕、營養障礙(完全綠内障ノ如キ)結膜諸病殊ニ膿漏性結膜炎、治弗的性結膜炎等
(種類) 其性ノ如何ニヨリ之ヲ惡性(進行性又ハ腐敗性)良性(加答兒性)ノ二種ニ區別シ、場處ニヨリテ之ヲ中心、邊緣ニ分チ、時期ニヨリ之ヲ進行期(不潔潰瘍)退行期(清潔潰瘍)ニ別チ、形狀ニヨリテ又々之ヲ圓形、鑷狀、環狀等ニ別ツ、
(症候) 流淚、羞明、疼痛等刺戟症狀悉ク具ハリ、毛様充血アリ、又往々前房貯膿症ヲ繼發ス
(經過) 漸々進行(或ハ面ニ沿テ四方ニ蔓延シ、或ハ層ニ沿テ深部ニ穿入ス)シテ遂ニ破開スルキハ場處ニヨリテ虹彩脫出 Prolapsus iridis ヲ生シ、後此部ニ愈着性角膜白斑 Leukoma adherens 又ハ局部葡萄腫ヲ形成ス、其角膜全體軟化シタルキ

ハ跡ニ所謂角膜勞 Phthisis comae 又ハ全葡萄腫ヲ生ス、反之暫時ニシテ退行期ニ移行スルキハ僅ニ薄翳ヲ殘シテ治愈ス
(治法) 「アトロピン」ノ點眼(中心ノ潰瘍ニ「アトロピン」邊緣潰瘍ニハ「エゼリン」ヲ點ス是レ虹彩脫出ヲ豫防スルノ妙法ナリト云フ)、沃度保兒母細末ノ散布、濕溫綳帶ヲ施シテ其經過ヲ見尙依然進行ノ兆アレハ潰瘍緣ノ浸潤最モ強キ部位ヲ細筆ニ浸シタル一%昇汞水ヲ用テ腐蝕シ、或ハ電氣燒灼ヲ行ヒ、後チ保護綳帶ヲ施ス
炎症悉ク消散シ獨リ角膜ニ渾濁ヲ遺セル場合ニハ阿片丁幾ノ點眼又ハ蒸氣、各種汞劑、黃降汞、ワゼリン、又ハミトワルスキ―氏軟膏等ニヨリ角膜ヲ刺戟シテ新陳代謝ヲ旺盛ナ

ラシメ以テ渾濁ノ吸収ヲ試ムヘシ

角膜膿瘍 Abscessus corneae.

(原因) 外來原因ハ總テ角膜潰瘍ノ原因ト異ナルコト無シ、此他自家傳染トシテ痘瘡、麻疹、猩紅熱、瘧熱、腸弟扶斯等ノ經過後ニ來ルコトアリ

(症候) 流淚羞明、疼痛、眼瞼皮膚ノ赤腫、結膜及角膜周攤充血アリ、角膜ノ中心ニ灰色又ハ帶黃灰色ノ浸潤ヲ生シ、其四圍亦タ微ニ灰色ノ渾濁ヲ呈ス、房水多クハ渾濁シ且ツ通例前房蓄膿症ヲ合併ス

(合併症) 虹彩炎症ハ殆ント必發ノ合併症ナリ、又時々脈絡膜炎ヲ兼スルコトアリ

(經過) 膿瘍ノ前壁先ツ少シク陥没シ、尋テ壞崩破開シテ潰瘍ヲ生ス、既ニノ後壁亦タ穿孔シ、房水漏洩ス

(治法) ノ原則ハ潰瘍ニ於ケルカゴトシ、角膜ノ將ニ破開セントスルニ當テ之ヲ自然ニ放任スルハ非ナリ、速カニ之ヲ切開スルヲ得策トス

角膜「ヘルペス」 Herpes corneae.

(種類) 呼吸器ノ熱性病ニ併發スルヲ熱性又ハ加苔兒性「ヘルペス」、H. febrilis s. katarhalis ト云ヒ、眼球帶狀「ヘルペス」ノ一症候トシテ來ルモノヲ帶狀「ヘルペス」、H. zoster ト云フ、甲ハ輕症ナレモ乙ハ頗ル重症ナリ

(症候) 許多ノ粟粒大又ハ嚙粟粒大ノ水泡疹一處ニ群集ス

其狀宛モ葡萄ノ房ノコトシ、初期水様ノ内容物、後變シテ膿様トナリ、破開シテ潰瘍ヲ生ス

(治法) 角膜潰瘍ノ條下ヲ參看スヘシ、内服ニハ水楊酸、コッフエイン、アナンチピリン等ヲ投ズ

深層點狀角膜炎 K. punctata profunda.

(原因) 麻拉利亞、禮麻弟斯

(症候) 虹彩炎ニ見ル所ノ諸症ヲ發シ、尋テ角膜ノ裡面ニ點狀ノ沈澱物ヲ生ス、往時ノ所謂デッセメット氏膜炎 Descemetitis ナル症ハ即是ナリ

(治法) 「アトロピン」ノ點眼、防腐液ノ温罨法及ヒ保護綑帶ヲ施ス、時トシテ角膜ヲ穿刺シテ房水ヲ交換シテ大ニ偉効ヲ奏スルコトアリ

兎眼ニ因スル角膜炎 K. e. lagophthalmo.

(原因) 眼瞼破裂ノ閉鎖不全ノ爲メニ角膜面ノ水分蒸發乾燥シ且ツ間斷ナク外來異物ノ刺戟ヲ受クルニヨル

(症候) 角膜ノ下部即チ所謂險裂領先ツ渾濁シ、尋テ潰瘍ニ陥リ、前房貯膿、虹彩炎ヲ發ス

(經過) 幸ニ原因ヲ除クキハ多少ノ渾濁ヲ遺シテ治ス、否ラサレハ終ニ全眼球炎ニ轉歸スルコトアリ

(治法) 原因ヲ除クニアリ、對症療法トシテ「アトロピン」ノ點眼保護綑帶ヲ行フ

角膜軟化症 Keratomalacie.

(原因) 虚脱セル小兒ノ全身營養不給
 (症候) 當初夜盲症、結膜及角膜乾燥症ヲ以テ始マリ、暫時ニシテ角膜膿瘍ヲ生シ、膿瘍破開シテ潰瘍トナリ、終ニ角膜全體軟化壞崩ス
 (豫後) 概テ不良ナリ、然レモ速ニ原因ヲ驅追スルコトヲ得ル場合ニハ角膜ニ癍痕ヲ遺スモ有用ノ視力ヲ保存シテ治愈スルコト往々之アリ
 (治法) 多量ノ生牛乳肉羹等ヲ給シ、局部ニ「アトロピン」點眼温罨法等ヲ施シ、内服ニハ肝油、沃度劑等ヲ投ス

神經麻痺性角膜炎 K. neuroparalytica.

(原因) 三叉神經麻痺
 (症候) 角膜渾濁シ、尋テ潰瘍ヲ生ス、又時ニ虹彩炎ヲ合併スルコトアリ
 (經過) 極メテ緩慢ニシテ或ハ角潰磨滅症ヲ生シ或ハ穿孔シテ葡萄腫ヲ生スルコトアリ
 (豫後) 多クハ不良
 (治法) 「アトロピン」點眼、温罨法、「ストリキニーチ」ノ顛顛部皮下注入(〇〇〇一乃至〇〇〇三)

角膜斑 Hornhautflecken.

(種類) 臨床上ニハ白斑 Leucoma (渾濁ノ最モ濃厚ニシテ鮑貝ノ如キ光輝アルヲ云フ、其虹彩前愈着症ヲ兼ヌルヲ愈着性

白斑 L. adherens ト云フ、雲翳 Nubecula 等ノ區別アレモ病理學上角膜組織ノ一部缺損シ癥痕組織ニヨリテ填充セルモノナリ

(原因) 諸般ノ物質缺損殊ニ外傷ニ因スル潰瘍、膿瘍等其主因タリ

(經過) 白斑ト雲翳トハ孰レカ最モ視力ヲ害スルヤ曰ク雲翳ナリ是レ薄翳ヲ通過スル光線不規則ニ屈折セラレテ四方ニ散亂スルニヨル、反之白斑ハ光線ヲ遮斷スルカ故ニ却テ視力ヲ害スルコトナシ

小兒ノ翳ハ意外ニ吸收シ往々人ヲシテ驚愕セシムルコトアリ、反之大人ニ在テハ概テ吸收スルコト少シ

(續發症) 視力不完全ナルカ爲メ物體ヲ眼ニ近接スル習慣

遂ニ性トナリ近視症ヲ生スルコトアリ、又々往々斜視ヲ發ス、(治法) 渾濁吸收ノ目的ヲ以テ蒸氣浴、汞劑ノ刺戟等ヲ行フ、概テ偉効ナシ、之ニ優ルモノハ虹彩切除ニ兼テ點墨術ヲ行フニ在リ(ウヰツカー氏最近ノ報告ニヨレハ角膜按摩法ハ意外ノ好果ヲ収ムルカコトシ

角膜葡萄腫 Staphyloma corneae.

(種類) 面ノ廣狹ニヨリテ之ヲ局部葡萄腫 St. parziale ト全葡萄腫 St. totale ノ二種ニ區別ス

(原因) 角膜ノ穿孔、殊ニ潰瘍膿瘍ノ結果トシテ來ルモノ最モ多シ

(症候) 全葡萄腫ハ間斷ナク流淚、疼痛等ノ刺戟症狀ヲ生ス、

局部葡萄腫ハ弱視ノ外ニ異日續發縁内障ノ大危険アリ
(治法) 豫防ニ盡カスヘシ、其已ニ本症ヲ發スルモノニハ切
除法ヲ斷行スヘシ(法下ニ出ツ)

老人環 Gerontoxon.

角膜ノ上縁ニ先ツ弓狀ノ灰白色渾濁ヲ生シ、漸次蔓延シテ
環狀トナリ其邊縁ヲ周擁ス、此症ハ是レ細胞ノ脂肪變性ニ
起因スルモノニシテ視力ヲ害シ又ハ創痕ノ愈合ヲ妨クル等
ノコトナシ

鞏膜 Sclera.

鞏膜炎 Scleritis

(種類) 表層鞏膜炎 Skl. superficialis 及ヒ深層鞏膜炎 Skl. pro-
fundaノ二種アリ、甲ハ後害ヲ遺スコトナキモ乙ハ往々視力
ヲ害スルコトアリ

(原因) 感冒、禮麻弟斯、月經閉止

(症候) 角膜輪ト赤道ノ間ニ炎竈ヲ生シ、結膜血管及ヒ上鞏
膜血管之ニ進入ス、既ニシテ一竈治癒スレハ亦隨テ第二竈
ヲ其近傍ニ生ス、如斯反復スルモノ是レ表層炎ニ屢々見ル
所ノ症候ナリ、反之深層炎ハ初期ヨリシテ竈狀ヲナサス一
時ニ稍ヤ廣キ面ヲ侵シ、屢々角膜周縁ヲ匝繞ス、而シテ發炎部ハ
表層炎ニ於ケルカ如ク會テ壞崩スルコトナク、癒痕ヲ形成シ
テ治癒ス、愈後癒痕脆弱ニシテ内壓ニ耐フルコト能ハス、遂ニ鞏
膜擴張症 Sklerektasie ヲ生ス

(合併症) 硬化性角膜炎、虹彩炎及ヒ脈絡膜炎

(豫後) 表層炎ニ在テハ必スシモ不良ナラスト雖モ再發三發ノ故ヲ以テ頗ル頻繁ナリ、乙ハ往々他部ニ炎症ヲ波及スルカ故ニ危險迥カニ大ナリ

(治法) 局部ニ「アトロピン」點眼、温罨法ヲ處シ、内服ニハ水楊酸曹達、沃度加里ヲ投シ、顛顛部ノ皮下ニ鹽酸、ピロカルピン(〇〇〇三乃至〇〇〇五)ノ注入ヲ試ムルモ亦タ可ナリ

虹彩 Iris.

虹彩炎 Iritis.

(種類) 病的產物ノ性狀ニヨリテ纖維性又成形性、單性トモ云フ、漿液性、化膿性ノ三種ニ區別ス、此區別亦タ臨床上ニモ

多少ノ便アリ

(原因) 自覺的ニハ流淚、羞明、疼痛(就中夜間劇發ス)等ノ刺戟症候及ヒ弱視アリ、他覺的ニハ眼瞼皮膚ノ赤腫(必發ノ症ニハ非ズ)、毛様充血、虹彩變色、光輝脫失、瞳孔縮小、反應痴鈍又ハ缺乏、虹彩後愈着、房水渾濁等ハ其主要ナルモノナリ

後愈着症 Synchia posterior アルモノニ「アトロピン」ノ點眼ヲ行フ片ハ瞳孔種々ノ形狀ヲ呈ス即チ腎臟形アリ豆形アリ梅花ニ類スルアリ不正形アリ、是レ一ニ後愈着ノ多少ニヨリテ此諸般ノ形狀ヲ呈スルモノナリ

所謂輪狀一名環狀後愈着ニハ「アトロピン」ヲ點下スルモ變形ヲ呈セス、前後兩房間ノ連絡全ク隔絶シ、他日縁内障ヲ發スヘキ大危險アリ、然レモ中心視力ハ(内壓ニ異常ヲ生セサ

ル間ハ比較的佳良ナリ
 所謂瞳孔膜 Pupilarn embrian ナルモノハ炎性産物ノ成形ニヨ
 リテ生ス、此膜瞳孔領ヲ全ク閉鎖スルキハ之ヲ鎖瞳症 P
 pilsensperet ト云フ、本症ハ他日内壓亢進ノ危険少ナキモ中心
 視力ヲ害スルコトハ最モ太甚シ、而シテ瞳孔膜ハ單純ノ虹彩炎
 ノミニ來ルコト少ナク大抵同時ニ毛様體炎ヲ兼ヌルモノ
 ニ多シ

虹彩炎ニ毛様體炎ヲ合併スルキハ前房四壁殊ニ角膜ノ裡
 面ニ無數ノ點狀沈澱物ヲ生シ、硝子體腔ノ前部ニモ亦タ炎
 性産物ヲ生ス、

内壓ハ通例異常ナシ、獨リ漿液性虹彩炎ニ在テハ時ニ内壓
 ノ亢進スルコトアリ(フォン・グレイフェ氏ヲシテ漿液性虹彩脈絡

炎即チ緑内障ノ説ヲ首唱セシメシハ之カ爲メナリ)、虹彩炎
 ノ末期ニ至テ内壓或ハ亢進シ(輪狀後愈着症或ハ沈降スル
 コアルハ是レ炎症其物ノ所爲ニ非スシテ多クハ器械的原
 因ニヨリテ發ス

(診斷) 上記諸症候ニ注意スルキハ通例容易ナリ、然レモ尙
 ホ多少ノ疑アル場合ニハ「アトロピン」ヲ點眼シテ以テ疑團
 ヲ水解スヘシ

(經過) 急性炎症ニ適當ノ治療ヲ施スキハ概テ三四週間ニ
 メ治愈ス、獨リ慢性症ニ至テハ或ハ數月又ハ歲餘ニ及フコ
 トアリ、而シテ再發極メテ多シ

(轉歸) 輕易ノ症ニ初發ヨリ適宜ノ療法ヲ施スキハ眞正完
 全ノ治愈ヲナシ、毫モ後害ヲ遺スコトナシ、其已ニ後愈着症

ヲ生シタルモノハ假令ヒ「アトロピン」ノ効用ニ藉リテ之ヲ剝離スルコトヲ得ルモ水晶體ノ前面ニ粘着シタル色素斑ハ畢生消亡スルコトナシ、廣キ後愈着症又ハ輪狀後愈着症ハ他日縁内障ヲ續發スルノ危険アリ、炎性産物水晶體ノ後面ニ達スルキハ成形シテ癍痕収縮ヲ生シ、網膜剝離症ヲ起シテ遂ニ眼球萎縮症ニ終ルコトアリ、又或ハ否ラサルモ白内障ヲ發シテ失明ニ陥ラシムルコトアリ

〔治法〕 先ツ原因療法ヲ施シ、局部ニハ「アトロピン」ノ點眼（一%ノ液ヲ一日五六回點眼シ、瞳孔最極度ニ散大スレハ一日一二回ニテ足ル）過劇ナル光線遮斷（眞ノ暗室トナスヲ須キ）ス窓掛ニテ遮斷スレハ可ナリヲ行フ、尙ホ瞳孔散大ノ度不充分ナルキハ水蛭又ハ人工銀針ニヨリテ顫顫部ヨリ瀉血

スヘシ、此法亦タ大ニ「アトロピン」ノ効力ヲ幫助スルコトアリ、「アトロピン」點眼ノ爲メニ眼瞼皮膚ノ濕疹、結膜加苔兒等ヲ起ス者アリ、試ニ硼酸、昇汞等ヲ加へ且ツ煮沸ニヨリテ充分ニ殺菌スルモ到底之ヲ豫防スルコト能ハサル場合アリ、是レ一種ノ特異性ナリ、斯ル場合ニハ「スコポラミン」、「ヒヨスチヤミン」等ヲ代用スルノ外ナシ

瞳孔散大症 Mydriasis.

〔原因〕 所謂散瞳藥ノ効用ニヨリテ發ス、即チ「アトロピン」、「ジエポアジン」、「ヒヨスチヤミン」、「エフェドリン」等ノ中毒、動眼神經ノ内麻痺、交感神經ノ痙攣、「ヒステリー」、「ヒポコンドリー」、内臟寄生蟲等モ亦タ本症ノ原因タリ

(治法) 原因療法ヲ主要トス、對症療法トシ「エゼリン」又ハ「ピロカルピン」ヲ點眼シ、平流電氣ヲ試用スヘシ

瞳孔縮少症 Miosis.

(原因) 「エゼリン」「ピロカルピン」ノ作用ニ藉リテ起リ、時トシ交感神經麻痺、動眼神經痙攣、脊髄勞及ヒ他ノ脊髄疾患ニ併發ス

「エゼリン」ノ作用ニ由テ本症ヲ生スルキハ亦タ全時ニ近點甚タシク眼ニ接近シ遠見ノ朦朧タルヲ訴フル者往々之アリ、斯ル患者ニ凹鏡ヲ試用スルキハ視力忽チ恢復ス(所謂假性近視)然レモ多クハ之ヲ與フルノ必要ナシ

(治法) 專ラ原因療法ヲ勉メ對症療法トシテ「アトロピン」

點眼ヲ試ムヘシ

「ヒッパス」Hippus.

(定義) 瞳孔ノ徑、光線調節等ニ毫モ關係ナクシテ不隨意ニ痙攣狀ノ一張一縮ヲ反復スルヲ謂フ

(原因) 「ヒステリー」、二ノ精神病

(治法) 原因療法

脈絡膜 Chorioidea.

脈絡膜炎 Chorioiditis.

(種類) 本症ニモ亦タ滲漏性脈絡膜炎、化膿性脈絡膜炎等ノ區別アリ、是レ病的產物ヲ標準トシテ分類セルモノナリ

滲漏性脈絡膜炎 *Ch. exsudativa.*

(原因) 滲漏性脈絡膜炎ノ主因ハ先天及ヒ後天梅毒、貧血、萎黃病、腺病等ノ如キ全身營養ノ不良ニ因ス、時ニ原因不明ナルヲアリ

(症候) 眼底所見ハ處々ニ黃色ノ炎竈散在ス、其新鮮ナルモノハ分界畫然タラス且ツ少シク隆起ス、是レ滲出物ノ集合セルモノナリ、此滲出物徐々吸收シ跡ニ白色ノ斑點ヲ遺ス、是レ脈絡膜ノ全ク瘦削セルモノニシテ、白斑ノ邊緣ハ黑色素ヲ以テ圍繞セララル

脈絡膜、網膜ノ二膜ハ相互觸接スルカ故ニ甲乙ノ一ニ炎症アレハ忽チ他ニ波及スルヲ多シ、此二膜共ニ發炎スルキハ

之ヲ網膜脈絡膜炎 *Retinohoroiditis* ト云フ

滲出物ハ網膜ヲ通過シ遂ニ硝子體腔ニ達ス、本症ニ見ル所ノ諸般ノ視機障礙ハ主トシテ此滲出物ノ所爲ナリ、即チ視力減少シ、スコトームヲ生シ、且ツ所謂變形視 *Metamorphopsie* ヲ生ス、其他飛蚊ヲ訴フル者アリ

(經過) 頗ル緩慢ニシテ且ツ太々再發シ易シ

(豫後) 甚タ疑ハシ

(治法) 原因療法ヲ主要トス、局部ニ在テハ眼ヲ安靜ニシ過劇ノ光線ヲ避ケ側ラ「ピロカルピン」、水楊酸曹達等ノ發汗劑ヲ用キテ往々偉効ヲ見ルヲアリ

化膿性脈絡膜炎 *Ch. suppurativa.*

(症候) 本症ハ劇烈ナル炎ノ症候ヲ備フ、即チ瞼皮赤腫シ、結膜充血浮腫シ、角膜微ニ溷濁シ、房水溷濁前房貯膿アリ、虹彩亦總テノ炎症ヲ具フ、側照法ニヨリ眼底ノ黄色ヲ放ツヲ見ル、視力皆無ナリ、劇烈ノ疼痛アリテ絶食不眠連日ニ亘ルアリ

本症テノン氏囊ニ波及スルキハ所謂全眼球炎 Panophthalmitis ヲ生シ眼球突出ス

(原因) 外來ニハ外傷(手術亦之ニ屬ス)自家傳染ニハ腐敗性「エンボリト」トシテ痔熱、腦脊髓膜炎ノ經過中ニ之ヲ發スル「アリ」(本院患者中「インフルエンザ」後本症ニ罹リタル者二三ノ人ヲ實驗セリ)

(治法) 温罨法、麻醉劑等ニヨリテ患者ノ苦悶ヲ輕快スルコト

ヲ計リ、全眼球炎ノ徵候ヲ發セハ速ニ鞏膜ヲ切開シ排膿スヘシ

前鞏膜脈絡膜炎 Sklero-Choroiditis anterior.

(定義) 脈絡膜ノ前部ニ局發性炎症ヲ生シ、尋テ其近圍ノ鞏膜亦タ發炎シ、爾後瘦削ニヨリテ其部膨脹スルノ症ナリ、故ニ又前鞏膜葡萄腫 Staphyloma anticum sclerae トモ稱ス

(原因) 全身營養不良殊ニ腺病質ノ人ニ多シ

(症候) 角膜縁ト赤道ノ間ニ炎竈アリ、其部ノ結膜充血シ、角膜及ヒ房水微カニ渾濁ス、炎竈徐々ニ瘦削症ニ陥リテ遂ニ局部膨大ス

自覺的ニハ中心視力減少、近視、飛蚊、スコトーム等ノ諸症アリ

リ、疼痛ハ之アルモ劇烈ナラス
 (治方) 脈絡膜炎ノ治法ニ均シ、間々、持續綳帶、前房穿刺術等
 効アリ

後鞏膜脈絡膜炎 Sklero-Choroiditis posterior.

(定義) 視神經乳頭ノ近隣ニ脈絡膜ノ局部瘦削症アリテ而
 ノ全時ニ其部ノ鞏膜後方ニ膨出スルヲ謂フ、又一ニ後葡萄
 腫 Staphyloma posticum ト云フ

(原因) 近視ノ人眼精ヲ使役スルコト多キニ過クルルルハ之ヲ
 發スト云フ、否ラサル者ニモ吾輩ハ屢々之ヲ目撃セリ

(症候) 眼底所見 乳頭ニ隣接シ又ハ之ヲ周匠スル所ノ
 鎌狀又ハ環狀窠アリ、窠ノ邊緣ニハ黑色素ノ堆積スルヲ見

ル
 自覺的ニハ遠見不明、眼前飛蚊アリ、細事業ヲ執レハ眼精忽
 チ疲勞ヲ感ス、本症ハ往々網膜瘦削症、綠内障等ヲ併發スル
 コアリ

(治法) 眼ノ安靜ヲ計リ且ツ鹽類軟下劑ヲ與ヘテ大便ノ通
 利ヲ促ス等專ラ攝生ニ注意スヘシ

脈絡膜缺損症 Coloboma chorioideae.

本症ハ虹彩ノ全症、小眼球等他部ノ畸形ヲ合併スルコト多シ、
 其眼底所見ハ乳頭ヨリ起リテ赤道部ニ達スル橢圓形ノ缺
 損アリテ其部ニハ鞏膜暴露ス、缺損部ノ周圍ハ黑色素ヲ以
 テ圍繞セラル

中心視力多ハ不完全ニシテ眼球震盪症ヲ兼ヌル者アリ

硝子體 *Corpus vitreum.*

硝子體炎 *Hyalitis.*

(原因) 脈絡膜炎、虹彩毛様體炎、綠内障、不潔ノ手術、異物、高度ノ近視等

(種類)

[甲] 化膿性硝子體炎 *H. suppurativa.* ハ硝子體中許多ノ膿球集簇シ黄色ノ渾濁ヲ生ス、此症ハ全時ニ他部ノ化膿ヲ併發シ暫時ニシテ失明ス

[乙] 肥大性硝子體炎 *H. hypertrophica* ハ一種ノ局發性炎症ニシテ多クハ他ニ蔓延セス

(症候) 眼底雲霧ヲ以テ蔽ハル、カ如キノ看アリ、乳頭赤色ヲ呈シテ其分界不明ナルコトアリ、又時トシテ塊様又ハ膜様ノ濃厚ナル渾濁一處ニ存在スルコトアリ

(豫後) 化膿性硝子體炎ハ通例全眼球炎ニ轉歸シ、局發渾濁ハ往々網膜剝離症ヲ生ス、故ニ兩症共ニ不良ナリ

(治法) 原因療法ヲ主眼トス、對症療法トシテ瀉血、發汗劑、平流電氣等ヲ試用ス、皆ナ確効ナシ

硝子體出血 *Haemorrhagie des Glaskorpers.*

(原因) 外傷、網膜及ヒ脈絡膜ノ血管壁變性

(症候) 出血ノ劇易ニヨリ或ハ急遽ニ或ハ徐々ニ視界ノ暗黒ヲ生ス、硝子體壞崩スル片ハ赤色ノ陰影ヲ認ムルコトアリ

(經過) 血液痕跡ヲモ留メスシテ吸收スルコトアレモ稀有ナリ、其大多數ハ炎症ヲ發シテ結締織ヲ新生シ、其痕痕収縮ニヨリテ網膜剝離症ヲ生ス

(豫後) 少ナクトモ治療ヲ保證スルコト能ハス

(治法) 上文硝子體炎ノ條下ヲ參看スヘシ

飛蚊症 Myodesopsia.

折光體ノ一部渾濁スルルハ則チ此症ヲ生ス、就中進行性近視症ニ多ク之ヲ見ル

(治法) 細事業ヲ嚴禁シ、大便ノ快通ヲ計リ、頭部ノ充血ヲ豫防スヘシ、進行性近視ニ持續的「アトロピン」療法ヲ試ミテ時ニ効アリト云フ

網膜 Retina.

網膜中心動脈「エムボリー」 Embolie

der arteria centralis retinae.

(原因) 心臟瓣膜及ヒ血管壁ノ疾患

(症候) 視野ノ周邊ヨリシテ、求心性ニ縮少シ遂ニ固視點モ亦タ消失シ至ク失明ス、時トシテ此症瞬時ニシテ消散シ、數時ヲ隔テ、更ニ第二回ノ發作ヲ生シ、終ニ失明スルコトアリ、眼底ヲ檢スルニ視神經乳頭脫色シテ蒼白トナリ、動脈ハ細微ナルコト絲ノ如ク、靜脈ハ稍ヤ怒漲ス、近隣網膜ハ一般ニ溷濁シ黄斑部ハ桃赤色ヲ呈ス

(治法) 虹彩切除、鞏膜切開、眼球按摩法等ノ諸法アリ、要ハ内

壓ヲ沈降セシメテ以テ中心動脈主幹中ノ栓子ヲ眼内ニ導
キ之ヲ枝別ニ輸致スルニ外ナラス

網膜出血症 *Haemorrhagia retinae.*

(原因) 心臟瓣膜ノ異常、老人ノ血管壁「アテロマ」變性、虹彩切
除術又ハ角膜鞏膜切開術ノ爲メニ生スル内壓ノ暴落(綠内
障殊ニ多シ)

(症候) 出血ノ場處、血量ノ多少ニヨリテ不同アリ、黃斑部及
ヒ其近傍ノ出血ハ視力ヲ害スルヲ尤モ甚タシ、反之邊緣部
ノ出血ハ「スコトーム」ヲ發スルモ甚タシク中心視力ヲ減ス
ルヲナシ

出血面ノ形狀ハ或ハ圓形ナルアリ、長方形ナルアリ、不正形

アリ、其色ハ或ハ鮮紅ニ或ハ暗黒ナリ

大出血アル部位ハ他日色素ヲ以テ圍繞スル所ノ瘦削斑ト
ナリテ存在ス

(診斷) 脈絡膜出血ニ在テハ血斑深部ニ在リテ網膜中心血
管其上ヲ通過ス、反之網膜出血ハ血斑淺表ニ在リテ往々網
膜血管ノ行路ヲ隱蔽ス、故ニ彼此ノ鑑識容易ナリ

(治法) 原因療法ノ外瀉血、吸收劑等ニヨリテ以テ其ノ吸收
ヲ促スベシ

網膜充血 *Hyperemia retinae.*

(原因) 遠視眼ノ調節過勞、頭部ノ充血、不完全ノ人工光線及
他部ノ炎症等本症ノ主因タリ

(症候) 劇光ニ逢フテ忽チ不快ノ感ヲ生シ、細事業ヲ執レハ忽チ眼ニ不快ノ壓痛ヲ感ス
眼底所見 ハ静脈ノ怒漲、眼底一面ノ充血等ナリ
中心視力ニハ著明ノ障碍ナシ
(治法) 屈折異常ハ適宜ノ眼鏡ニヨリテ矯正シ、勉メテ眼精ノ過勞ヲ避ケ、側ヲ誘導法ヲ行フベシ

網膜炎 Retinitis.

(種類) 單純、實質性、蛋白尿性、糖尿病性、色素性、梅毒性、白血病性等ノ數種アリ
眼底所見

(甲) 單純網膜炎 R. simplex ニ在テハ網膜溷濁シテ不透明ト

ナリ澄液ノ浸潤ニヨリテ綠色ヲ呈シ、乳頭充血ス

(乙) 網膜實質炎 R. parenchymatosa ハ網膜ノ充血浮腫ヲ呈シ、處々ニ白色又ハ黃色ノ斑點散在ス、血管ノ一部ハ外膜細胞ノ肥大ニヨリテ生シタル反射索ヲ以テ掩ハル

(丙) 蛋白尿性網膜炎 R. albuminurica ハ網膜ノ充血、出血及ヒ乳頭ヲ周匠スル所ノ散在性白斑ヲ生ス、此斑黃斑部ノ周圍ニ在テ星芒狀ヲ呈ス、蓋シ此白斑ハ網膜結締織ノ肪脂變性及神經膜ノ硬化等ニ由テ發生セルモノナリ

(丁) 糖尿病性網膜炎 R. diabetica
眼底所見 略ホ蛋白尿性炎ニ類ス、唯白斑ノ配置蛋白尿性炎ニ於ケル如ク整然タラス

(戊) 色素性網膜炎 R. pigmentosa ニ在テハ乳頭脫色渾濁シ

テ黄蠟色ヲ呈シ、中心血管就中動脈ハ細キコト絲ノ如ク、其
 經路ニ沿フテ散在スル多數ノ骨小體形又ハ黒斑アリ、是レ
 色素性網膜炎ノ名アル所謂ナリ
 色素斑ハ當初網膜ノ邊緣ニ在リ、後徐々求心性ニ中心ニ向
 テ進行ス、末期ニ至レハ硝子體渾濁、後極白内障等ノ合併症
 ヲ發シ、早晚必ス失明ス
 (機能障礙) 單純網膜炎及ヒ網膜實質炎ニ在テハ視力漸々
 減少シ、視野狹縮シ、物ヲ視ルニ宛モ霧裡ニ坐スルカ如ク朦
 朧タリ、又時ニ「スコトーム」ヲ生ス
 (經過) ハ極メテ緩慢ナリ、其廣大ナル滲出物アルモノハ概
 子網膜ノ「アトロフィー」ニ因テ失明ス
 蛋白尿性網膜炎及糖尿病性網膜炎ノ二症ハ大抵兩眼ニ發

シ、飛蚊「スコトーム」、歪視等ノ諸症ヲ發ス
 (經過) ハ極メテ不規則ニシテ忽チ輕快シ又忽チ増悪ス、感冒、
 妊娠、猩紅熱等ニ因スルモノハ時ニ治癒スルヲアレモ慢性
 症ニ至テハ冀望鮮ナシ
 梅毒性網膜炎ハ通例脈絡膜炎、硝子體ノ疾患等ヲ合併ス、視
 力ノ害セラル、¹太タシク且ツ數回再發スルノ傾アレモ、
 之ニ適宜ノ療法ヲ施スルハ往々意外ノ好結果ヲ収ムルヲ
 アリ、故ニ豫後不良ナラス
 (治法) 主トシテ原因ノ驅除ヲ勉メ、側ラ沃度加里、汞劑、下劑、
 發汗劑、瀉血等ノ諸法ヲ試ムヘシ

網膜瘦削症 *Atrophia retinae.*

(原因) 慢性網膜炎、中心血管ノ「エムボリー」及「トロンボーゼ」

(症候) 血管ノ縮少及ヒ閉塞、乳頭ノ續發瘦削症

(豫後) 不良

(治法) 無

色素性網膜炎 R. pigmentosa.

(原因) 本病ハ近親ノ血族婚ヨリ生シタル子孫ニ多ク、且ツ累代遺傳病トナリテ發ス、罕ニハ梅毒本症ノ原因トナルコアリ(?)

(症候) 中心視力ハ比較的良好ニシテ而シテ行歩ノ不自由ヲ感ス、是レ視野同心性ニ狹縮シ爲メニ見ル所廣カラサルニヨル、加之夜盲症ノ爲メニ光線微弱ナルキハ視力不釣合ニ減

少シ一層ノ不便ヲ感セシム

(經過) 罕ニ偏眼ヲ侵ス、アルモ其最大多數ハ兩眼ニ發ス、經過ハ短カキモ數年、長キハ十數年以上ニ達ス、身體ヲ衰弱セシムル諸件ハ皆ナ失明ヲ催進スルノ原因トナル、故ニ成ル可ク之ヲ避クヘシ

(豫後) 絶對的不良ナリ

(治法) 勉メテ身體營養ノ完全ヲ計リ、房事過度ノ人ニハ必ス之ヲ嚴禁スヘシ

網膜剝離症 Anotio retinae.

(定義) 網膜ト脈絡膜トノ連續ヲ失ヒタルヲ云フ

(原因) 進行性近視、硝子體腔ノ瘢痕収縮、網膜脈絡膜間ノ外

傷性出血、脈絡膜又ハ網膜深層ノ腫瘍等其主ナルモノニシテ原因不明ナルコトアリ

(症候) 眼球運轉ノ際青綠色又ハ灰色ノ薄膜漣狀ニ動搖ス、之ヲ鏡檢スレバ血管ハ暗赤色ヲ呈シ、其一部皺襞中ニ埋没シテ經路連續セス、剝離部ニ相當スル「スコトーム」ヲ生シ、且ツ往々變形視アリテ物體歪斜スルカ如キ看アリ

剝離部ハ最モ多ク網膜ノ下半部ニアリ、是レ澄液血液等ノ自重ニヨリテ然ラシムルナリ、網膜下液中ニハ胆脂結晶圓錐體圓柱體ノ碎片、不正形細胞等ヲ含有ス、時日ヲ經レハ剝離セル網膜ハ遂ニ脂變ス

(合併症) 硝子體渾濁、後極白內障

(治法) 多ハ効ナシ、先ツ眼ヲ安靜ニシ(全身ノ安靜ヲ計ルカ

爲メニ仰臥ヲ命スルヲ可トス)暗室療法、持續綳帶、ピロカルピンノ皮下注入、水楊酸曹達ノ内服ヲ命ス、佛人ハ虹彩切除術ノ偉効アルヲ唱道ス、輓近線狀刀ヲ用キテ鞏膜ヲ穿刺シ、網膜下出血ニヨリテ以テ愈合ヲ計ル者アリ、亦是一試ノ價値アリ

視神經 Nervus opticus.

視神經網膜炎 Neuro-Retinitis.

(定義) 視神經乳頭ノ炎症ニ其近隣網膜ノ炎症ヲ併發シタルヲ謂フ

(原因) 腦實質中又ハ頭蓋基底ノ腫瘍、出血、ニコチン、亞兒個保兒鉛等ノ中毒

(眼底所見) 乳頭發赤腫起シ、其經堺不明トナリ、近隣網膜亦
タ渾濁シ、靜脈怒漲シテ彎曲迂回シ、處々ニ點狀小出血ヲ認
ム、爾後炎症消散シテ遂ニ瘦削症ニ轉歸ス

(機能障礙) 中心視力多少減却シ萬物皆ナ朦朧タリ、然レモ
初期ニハ視機ノ障礙ト眼底所見トハ殆ント相適合セサル
ヲアルモ時日ヲ經ルニ隨テ兩者權衡ヲ得、後ニ至テ視力漸
々減衰シ遂ニ失明ニ終ルモノ多シ

(治法) 原因療法ヲ主トシ、消炎ノ目的ヲ以テ諸般ノ誘導法
ヲ行フ、多クハ確効ヲ奏セス

下行性視神經炎 N. descendens.

(原因) 腦膜炎、腦膜及腦實質炎、眼窩疾患、急性脊髓炎

(症候及治法) 視神經網膜炎ニ全シ

視神經瘦削症 Atrophia nerv. opt.

(原因) 視神經炎、網膜炎、中心動脈「エムボリー」、三叉神經損傷、
腫瘍、出血、「ニコチン」中毒等ヲ首メトシ、脊髓勞及爾餘ノ脊髓
疾患

(眼底所見) 乳頭脫色シテ蒼白色ヲ呈シ、動脈細微トナリ、網
膜炎後ノ症ニ在テハ乳頭ノ分堺不明瞭ナリ、最後ニ多少ノ
瘦削性陷沒ヲ生ス

(豫後) 不良、必ス失明ス

(治法) 原因療法、顯顯皮下ニ「ストリキニーチ」〇〇〇一乃至
〇〇〇六注入

水晶體 *Lens krystallina.*

白内障 *Cataracta.*

(定義) 水晶體又ハ水晶囊ノ一部若クハ全部渾濁スル片ハ之ヲ總稱シテ白内障ト謂フ

(種類及原因) 原因ニヨリテ先天性、糖尿病性、老人、外傷性等ニ區別シ、性状ニヨリテ軟性、硬性ニ分チ、場所ニヨリテ核性、皮質性、囊性等ニ分ツ

(症候) 自覺的、萬物模糊宛モ霧裡ニ坐スルカ如ク、時ニ偏眼多視症 *Monoculare Polyopie* ヲ生ス

他覺的、平素漆黑色ノ瞳孔一變シテ白、黃、褐、真珠、絹様等ノ諸色ヲ呈ス、眼底検査ハ唯局發白内障ニノミ之ヲ行フヲ得、故

ニ斜照法ニヨリテ其性状ヲ視察スヘシ

(豫後) 所謂單純白内障ニシテ他病ヲ合併セス、視力減衰ノ度渾濁ノ多少ニ適合シ、光線ノ投射 *Projektion des Lichtes* 正確ナル片ハ多クハ良、反之合併症アルモノハ不良

(診斷) 白内障ノ診斷ハ非醫者流亦タ之ヲ能クス、要ハ其單純ナルカ將タ複雑ナルカヲ判斷シ併セテ手術ヲ施行スヘキ時期ノ適否ヲ診定スルニ在リ

(治法) 凡百ノ藥物皆無効ニシテ獨外科手術ノ一途アルノミ即チ二十年前後ノ人ニハ水晶囊切開法(一名吸收法) *Discission* 又ハ單純線狀摘出法ヲ應用シ、壯年以上ノ人ニハ瓣狀若クハ變形線狀摘出法ヲ舉行ス、所謂未熟白内障 *Unreife Cataracta* ニハ人工成熟法ヲ行ヒ、其成熟ヲ期シテ摘出法ヲ施行

ス

(禁忌) 涙囊膿漏症、分泌饒多ノ結膜炎症、仰臥位置ヲ取ルヲ能ハサル諸疾患等ナリ

水晶囊白内障 *Cat. capsularis.*

(定義) 水晶囊ノ前極又ハ後極ニ假性膜、色素、石灰鹽等ノ凝着シテ爲メニ渾濁セルヲ云フ

(原因) 先天又ハ後天性虹彩炎

(診斷) 水晶體ノ白内障ニハ瞳孔縁ニ愈着ナキモ水晶囊ノ全症ニハ往々之アリ且虹彩ノ變性ヲ見ルヲ多シ

(治法) 虹彩切除術ニ兼テテ摘出術ヲ行フ

間層白内障 *Cat. perinuclearis.*

(定義) 皮質ト核トノ間ニ渾濁アリ、是レ核圍白内障又ハ間層白内障ノ稱アル所以ナリ

(原因) 英吉利病

(症候) 視力比較的佳良ニシテ羞明アリ、患者屢々手掌ヲ以テ眼ヲ蔽ヒ又ハ臉裂ヲ縮少スルノ習慣アリ

(治法) 先ツ囊切開法ヲ行フテ成熟ヲ促シ而後線狀摘出術ヲ舉行ス

後發白内障 *Cat. secundaria.*

(定義) 孰レノ方法ヲ問ハス白内障手術ヲ行ヒタル後ニ瞳孔領ニ渾濁ヲ生スルヲ云フ

(解剖) 此渾濁ハ或ハ囊ヨリ發シ或ハ皮質ヨリ生ス、又時ニ虹彩炎ノ病的產物ヨリモ發スルコアリ

(治法) ボウメン氏截囊針ヲ用キテ瞳孔領ノ中心ニ適宜ノ孔ヲ穿ツヘシ、時期ハ通例術後第三週ヲ適當トス、早キニ過キ晚キニ失スルハ共ニ不可ナリ

先天性白內障 *Cat. congenita.*

(原因) 遺傳病ニシテ多クハ兩眼ニ發ス

(種類) 軟性ニシテ乳白色ナルアリ又或ハ膜様ナルアリ

(症候) 羞明甚タシク往々眼球震盪症ヲ兼ヌ

(治法) 間層白內障ニ在テハ單ニ虹彩切除術ノミニテ足ルコアリ、或ハ囊切開術ヲ要ス、又屢々手術ノ無効ナルコアリ

外傷性白內障 *Cat. traumatica.*

(原因) 囊ノ一部破開シ水樣液ト水晶體ト直ニ觸接スル片ハ即チ之ヲ發ス、本症ヲ發スルニハ通例角膜及虹彩ニ穿貫創ヲ生シ其餘勢水晶囊ニ及達スルモノナリ。

(豫後) 尖端ヲ有スル物體ニシテ異物眼底ニ竄入セサル片ハ概テ佳良

(治法) 負傷當時ハ防腐液洗滌、アトロピン點眼、綳帶等ヲ行ヒ(内壓急ニ昂騰スレハ「エゼリン」ヲ用テ刺戟減退スルヲ期シテ水晶體ヲ破碎シ同時ニ摘出ス、術後内壓暴騰ノ徵惡心又ハ嘔吐、疼痛アレハ直ニ房水ヲ排除シテ以テ其沈降ヲ計ルヘシ

水晶體缺乏症 Aphakia.

(定義) 水晶體其固有ノ位置ニ在ラサルヲ謂フ

(原因) 外傷又ハ手術ニヨリテ其全體眼球以外ニ出テタルモノ尤モ多シ

(症候) 前房深濶、ブルキニエー氏像缺如シ、虹彩震盪ス、概テ高度ノ遠視眼ナリ

(治法) 通例十乃至十二折光力ノ凸面、レンズヲ與フ、其以前ノ屈折狀態近視眼ナルキハ此數ヨリ近視度ト同一ノ折光力數ヲ減シ、遠視眼ナルキハ此數ニ遠視ノ度ヲ加ヘタル眼鏡ヲ授クヘシ

水晶體脫臼症 Luxatio lentis.

(原因) 先天性ニハ極メテ罕ニ、後天性ニハ外傷ヲ主因トス、罕ニハ高度ノ近視、硝子體脈絡膜ノ疾患等ニ起因スルコアリ、チン氏帶ノ異常ハ本症ニ必發ノ症ナリ

(症候) 水晶體、鞏膜ヲ穿テ結膜下ニ脫出シ(鈍體衝突)或ハ前房ニ逸出シ、又或ハ硝子體腔ニ沈没シ(是レ屢目撃スル所)或ハ其上緣瞳孔領ニ横ハリ(徹照スルニ上半赤色下半黑色ナリ)偏眼複視ヲ呈スルコアリ

(豫後) 一舉眼球以外又ハ前房ニ出ツルモノハ吉、他ハ甚ダ危険ナリ

(治法) 能ク可クンハ之ヲ摘出ス、能ハサレハ唯對症療法ノ

一アルノミ

綠内障 Glaucoma.

(定義) 健眼又ハ病眼ニ内壓ノ亢進ヲ發シ爲メニ諸般ノ障
碍ヲ生スルヲ謂フ、名稱ハ瞳孔ノ綠色ニ取レリ

(學說) 葡萄膜炎就中漿液性脈絡膜炎、毛様神經刺戟、フォンタ
ナ氏管閉塞ニ因スル液體滯留、中心動脈貧血等ノ諸說紛々
タルモ未タ一定說ナシ

(種類) 先ツ之ヲ特發、續發二種ニ大別シ、更ニ甲ヲ急性炎性、
慢性炎性、無炎性一名單純ノ數種ニ再別ス

急性炎性綠内障 Gl. inflamm. acutum.

(症候) 劇シキ精神ノ感動等ノ誘因ニヨリテ突然發作ヲ生
スルキハ精神不穩、嘔吐頭痛アリ、萬物朦朧、光線ノ周圍ニ霓
輪ヲ生ス、眼内及眼圍ヨリ三又神經第一二枝ノ分佈區ニ傳
達スル所ノ神經痛アリ、毛様充血強ク、角膜渾濁シテ知覺鈍
麻シ、前房狹隘、瞳孔散大、中心視力減少、視界狹縮ス、眼ヲ指壓
スレハ内壓著シク亢進ス

既ニノ發作退クキハ諸症殆ント皆ナ輕快ス、獨リ瞳孔散大
症、中心視力ノ減衰ハ、舊態ニ復スルヲナシ、爾後第二第三數
回發作ヲ反復シテ遂ニ失明ス、罕ニハ初度ノ發作ニヨリ數
時間ニシテ失明スルヲアリ、之ヲ電擊性綠内障 Gl. Auminans ト
云フ

發作數回ニ及フキハ乳頭陷沒ス(壓迫性陷沒 Druckexcavation)

之ト全時ニ視野ノ鼻側ヨリ缺損ヲ始メ漸々固視點ニ及ビ
最後ニ固視點亦タ消亡シ視力皆無トナル、是レ即チ完全緑
内障 *Gl. absolutum* ナリ

此期ニ至レハ角膜全ク知覺ヲ失ヒ、開張セル毛様血管之ヲ
圍繞ス、瞳孔ハ極度ニ散大シテ反應消失シ一種ノ綠色ヲ呈
ス、故ニ緑内障ノ稱アリ

(治法) 藥劑的治法ハ「エゼリン」「ピロカルピン」ノ點眼「アンチ
ピリン」「コデイン」、抱水格魯拉兒、スルフォナール」ノ内服ヲ投
ス、然レモ皆姑息法ナリ、之ヲ根治セント欲セハ鞏膜切開法
虹彩切除法等ノ外科手術アルノミ

慢性緑内障 *Gl. chronicum*.

(原因) 或ハ急性症ヨリ轉歸シ、或ハ初發ヨリシテ慢性經過
ヲ取ルコアリ

(症候) 視機障碍ヲ除クノ外總テノ自覺的症候極メテ輕易
ナリ、反之他覺的症候ハ極メテ著明ナリ、即チ眼球硬固ニ、輕
度ノ結膜及毛様充血アリ、角膜渾濁シテ知覺鈍麻シ、瞳孔散
大ス

眼底所見ハ乳頭陷沒、動脈搏動等ナリ

(經過) 緩慢ニ進行シ、視力漸々減少ス、彼ノ無炎症慢性緑内
障ハ全ク炎ノ症候ナク、單ニ視力ノ衰耗ト著明ノ内壓亢進
ナク(或ハ之アルモ發見シ能ハザル場合モアラン)シテ而シテ
乳頭ニ較著ノ陷沒ヲ生スルノミ、故ニグレーフ^エ氏ハ之ニ乳
頭陷沒ヲ兼テタル黒内障 *Amaurosis cum excavat. n. opt.* ノ名ヲ

命セリ

(治法) 方針ハ急性症ニ異ナルコト無シ、唯視野ノ已ニ狹縮ヲ始メタルモノニ虹彩切除術ヲ行フテ却テ失明ヲ促ス場合無キニ非ス、是レ一考ヲ要スル所ナリ

角膜、鞏膜、虹彩等ニ著明ノ疾患アリテ、而シテ此等疾患ノ爲メニ内壓亢進スルハ之ヲ續發綠内障 Gl. secundarium ト云フ、其症候治療法等皆ナ特發綠内障ニ殊ナルコト無シ

水眼 *Hydrophthalmos.*

(定義) 内壓亢進ノ爲メニ眼ノ容積一般ニ膨脹スルヲ謂フ素因多クハ先天性ナリ

(症候) 眼球巨大、鞏膜菲薄ニシテ脈絡膜ヲ透見ス故ニ少シク

青色ヲ帶フ、瞳孔散大シテ反應痴鈍トナリ、近視又ハ亂視ノ状態ヲ呈ス、中心視力漸々凋衰シ遂ニ失明ニ終ル、疼痛無シ

(豫後) 一旦本症ヲ發スレハ概テ停止スルコトナシ

(治法) 角膜穿刺術ヲ數回反復シ以テ内壓ノ沈降ヲ計ルヘシ、眼球過大ニシテ爲メニ刺戟甚タシキモノハ速ニ摘出術ヲ斷行スヘシ

交感性眼炎 *Ophthalmia sympathica.*

(定義) 一眼重患ニ罹リタル後著因ナクシテ第二眼ニ劇シキ虹彩毛様體ヲ起シ終ニ失明スルヲ謂フ

(原因) 諸般ノ外傷(就中毛様體ヲ損傷スルモノ)眼内異物等ニ因スル虹彩毛様體炎

(症候) 第一眼ノ疾患後若干時ヲ經テ第二眼ニ突然羞明流淚等ヲ發シ、近點眼ヲ距ルカ故ニ讀書寫字裁縫等ノ細事業ヲ執ルヲ能ハス、尋テ虹彩炎、毛様體炎ノ諸症ヲ發ス、ヒルシユヘルグ氏ハ本病ニ固有ナル一種ノ眼底變常ヲ世ニ公ニセリ

(學說) 晩近ドイチュマン氏ハ起炎性微菌甲ノ眼ヨリ視神經鞘ヲ沿フテ乙ノ眼ニ達スルノ說ヲ唱ヘ本症ニ轉移性眼炎 Ophthalmia migratoria ノ別名ヲ命セリ

(治法) 藥物一モ効ヲ奏スルモノナシ、唯眼球摘出、眼内容物摘出、視神經及毛様神經切除ノ三手術アルノミ、之ヲ舉行スル一日ヲ早クスレハ一日ノ利アリ、果斷ノ二字本手術ニ在テ殊ニ其要ヲ見ル、果斷、果斷

眼瞼 Palpebrae.

眼瞼缺損症 Coloboma palpebrae.

本症先天性ニ來ル片ハ虹彩、脈絡膜ノ全症、兔唇等ノ畸形ヲ合併ス、後天性ニハ外傷ニヨリテ生ス、余輩ハ吊洋燈ノ鈎ニテ上瞼裂傷ヲ生シ、不適當ノ治法ニヨリ本症ヲ遺シタル場合ヲ目撃シタルコト一二回アリ

(治法) 成形術

眦瘻着症 Blepharophimosis.

(定義) 慢性「トラホーム」眼瞼緣炎等ノ爲メニ内眦又ハ外眦ノ上下眼瞼緣瘻着シ、眼瞼破裂ノ狹縮シタル状態ヲ謂フ、内

眦ニモ之ナキニ非スト雖モ主トノ外眦ニ之ヲ見ル

(治法) 眦成形術

眼瞼愈着症 *Synblepharon.*

(定義) 損傷、火傷、腐蝕、結膜重患等ノ爲メニ眼瞼結膜ト眼球結膜ノ兩面互ニ愈着シタルヲ謂フ

(治法) 豫防法最モ効アリ、其已ニ本症ヲ發シタルモノニハ愈着面ヲ切離シテ他人又ハ家兔ノ結膜、臍粘膜等ノ移植法ヲ試ムヘシ

睫毛亂生症 *Trichiasis.*

(定義) 名稱ノ如ク睫毛ノ生列乖亂シテ眼球面ニ向ヒ、絶エ

ス之ヲ刺戟スル状態ヲ謂フ、先輩ノ所謂睫毛内刺症ハ本症ト内翻症ノ併發シタルモノニ外ナラス

(原因) 「トラホーム」慢性眼瞼縁炎

(合併症) 睫毛摩擦ノ結果トシテ慢性結膜炎、角膜渾濁等ヲ生シ、太タシキハ角膜潰瘍ヲ生スルコアリ

(治法) 毛根切除又ハ移植術(下文參看)

眼瞼縁炎 *Blepharitis marginalis.*

(定義) 名ノ如ク眼瞼縁ノ皮膚發炎シタルヲ謂フ

(種類) (甲) 鱗屑性眼瞼縁炎 *Bl. squamosa* ハ睫毛間ニ白色又ハ灰白色ノ痂皮附着ス、試ニ之ヲ除ケハ僅ニ皮膚ノ充血スルヲ見ル

(乙) 潰瘍性險縁炎 *Bl. ulcerosa.*

險縁黄色ノ痂色ヲ附着ス、之ヲ除ケハ局部陷没シテ潰瘍状ヲナス、此症流涙眼精疲勞等ヲ生シ、經久頑固ニシテ愈ヘス且屢、再發ス

(原因) 腺病質、不潔ノ空氣、慢性結膜炎

(治法) 赤、黄、白降汞皆ナ効アリ、就中白降汞「ワセリン」ニ乃至三%偉勳ヲ奏ス、小膿瘍ハ硝酸銀液又ハ物質ノ腐蝕尤モ奇効アリ

麥粒腫 *Hordeolum.*

(定義) ツァイス氏毛球腺ノ急性炎症ヲ發シタルヲ謂フ

(症候) 發炎部及近傍ノ皮膚發赤腫脹シ、之ニ觸レテ劇痛ア

リ、數日ニシテ局部化膿ニヨリテ黄變シ、内容ヲ洩シテ愈ユ、此症往々數所ニ頻發ス

(原因) 腺病家、貧血家ニ多シ

(治法) 温罨法ヲ施シテ化膿ヲ促シ、機ヲ見テ切開ス、再發豫防ノ爲メニ險縁炎ニ對テ適當ノ治法ヲ施スヘシ

霰粒腫 *Chalazion.*

(定義) メイボーム氏腺ノ慢性炎ニシテ大豆乃至豌豆大ニ達シ、形テ略ホ圓形ナリ、質硬固彈力性アリ、皮膚容易ニ移動ス、往々結膜面ニ破開シ「ポリープ」状ヲナスコトアリ、其否ラサルモノヲ切開スレハ内容物ハ肉芽組織ト全組織ノ粘液状ニ軟化セルモノヨリ成ルヲ見ル

本症ニハ著明ノ炎症ナシ、唯僅カニ容貌ヲ害シ眼ヲ器械的ニ刺戟スルノ不利アルノミ

(治法) 狹瞼器ヲ挿入シ、古加乙液ヲ注入シ、利刀ヲ用テ縦割シ、銳匙ヲ用テ悉ク内容物ヲ搔除スヘシ

眼瞼濕疹 *Przemna palpebrae.*

本症ハ腺病質ノ小兒ニシテ水泡性結膜炎ニ罹レル者ニ多ク(又全時ニ顔面耳輪等ニ全症ヲ發ス)大人ニハ罕ニ之ヲ見ル、

(治法) 原因療法ノ外、局部ニ亞鉛華軟膏、ヘブラ氏軟膏、白降汞軟膏、硝酸銀液塗布等ヲ行フ

眼瞼膿瘍 *Abscessus palpebrae.*

(原因) 外傷、眼窩緣ノ骨病、丹毒、脾脫疽

(症候) 瞼皮ノ炎性浮腫、近傍水脈腺ノ腫脹アリ、疼痛頗ル甚シ、或ハ破開膿ヲ洩シ、或ハ壞疽狀ニ陥ル、後癒痕ヲ形成シテ外翻症、兔眼等ヲ生スルコトアリ

(治法) 切開、繃帶

癰腫癰 *Furunkel, Carbunkel*

劇烈ナル全身症狀ヲ以テ始マリ、多ハ上瞼ニ發ス、十字形切開、繃帶

丹毒 *Erysipelas.*

顔面丹毒ノ一症候トシテ來ル、炎症眼窩蜂窩織ニ蔓延シ視
神経炎ヲ侵シテ失明スルコアリ、余輩ノ目撃セル一症ノ如
キハ中心動脈閉塞シテ結締織索トナリ、遂ニ失明セリ

眼瞼内翻症 Entropion.

(定義) 瞼遊離縁ノ内方ニ翻轉セルヲ謂フ

(種類) (甲) 痙攣性内翻症 Ect. spasticum ハ輪匠筋ノ痙攣ニヨ
リ生ス、本症ハ下瞼ニ最モ多ク之ヲ發ス

(原因) 急性結膜炎、殊ニ水泡性、異物

(治法) 原因療法

(乙) 老人性内翻症 Ect. senile 亦下瞼ニ多シ

(原因) 眼窩脂肪ノ消耗、眼球萎縮又ハ眼球勞、持續的糊帶等

ナリ

(治法) 原因療法、血性手術

(丙) 癍痕性内翻症 Ect. cicatricium

(原因) 腐蝕、火傷、トラホーム、治弗的里ノ癍痕期

(治法) 外科手術

眼瞼外翻症 Ectropion.

(定義) 眼瞼外方ニ翻轉シ結膜面露出スルヲ謂フ

(種類) (甲) 痙攣性外翻症 Ect. spasticum ハ輪匠筋ノ眼窩部
痙攣ヲ發スルニヨル、大抵兩瞼同時ニ外翻ス

(原因) 水泡性結膜炎ニシテ殊ニ結膜肥厚セルモノ、膿漏眼、ト
ラホーム等ニ多シ

(治法) 小兒ノ水泡性結膜炎ニハ灌水法殊ニ奇効アリ、他ハ皆ナ原因療法ヲ主トスベシ

(乙) 麻痺性外翻症 Ect. paralyticum ハ輪匠筋ノ麻痺ニ由テ來ル、本症ハ獨下瞼ニノミ之ヲ發ス

(治法) 電氣療法

(丙) 老人性外翻症 Ect. senile モ亦タ下瞼ニノミ發ス、是レ老境瞼皮ノ弛縱セルニヨル

(丁) 癍痕性外翻症 Ect. cicatricium ハ癍痕收縮ノ結果トシ來ル

(原因) 火傷、潰瘍、壞疽、眼窩縁ノ骨「カリエス」

(治法) 外科手術

眼瞼下垂症 Ptosis.

(定義) 上瞼下垂シ意識ニヨリ舉上シ能ハサルヲ謂フ

(種類) (甲) 先天性下垂症ハ概テ兩側ニ發シ輕度ナリ、是上瞼舉筋ノ發育不全ナルニヨル

(乙) 動眼神經麻痺ノ一症候トシ來ル、多クハ偏側ニシテ全時ニ眼球内外筋ノ麻痺ヲ併發ス

(治法) 先天性ノ症ニハ外科手術アルノミ、後天性ニハ沃度、發汗劑、平流電氣等ヲ試シ、最後ノ手段トシテ外科的療法ヲ行フ

淚器 *Thraenorgane.*

淚囊膿漏症 *Blennorrhoea sacci lacrymalis.*

(定義) 淚囊ノ加答兒性炎症ニシテ、之ヲ指壓スレハ膿様ノ液汎濫シテ結膜面ニ逆流スルヲ謂フ、彼ノ淋病菌ニ原因スル膿漏性結膜炎トハ全ク別物ナリ、讀者注意シテ彼我ヲ混同スル勿レ

(原因) 排淚道ニ狭窄アルルハ淚液潑留腐敗シテ粘膜炎ヲ刺戟シ、遂ニ淚囊壁ノ炎症ヲ發ス
狭窄ノ原因ハ鼻粘膜炎、鼻粘膜炎潰瘍、腺病家梅毒家ニ多シ、腫瘍等ナリ

(症候) 流淚アリテ局部腫脹ス、之ヲ指壓スレハ新鮮ノ症ニ在テ膿様液ヲ、陳舊ノ症ハ粘液又ハ水様液ヲ洩ス
(合併症) 從來本症ニ罹ル者一朝角膜ノ物質缺損ヲ生スルルハ直ニ潰瘍、膿瘍ヲ生ス、彼ノ勞働者流ニ屢見ル所ノ「ツキ」

眼ナル危險ノ症ハ即チ本症ニ起因セル化膿性角膜炎ニ外ナラス

(治法) 原因療法ノ外ニ小淚管切開、淚囊洗滌(アチル氏唧筒ニテ)、ボウメン氏消息子挿入ヲ行ヒ、以テ淚道ノ疏通ヲ計ルヘシ

淚囊炎 Dacryocystitis.

(原因) 淚囊膿漏症ノ經過中、囊壁ノ一部損傷(消息子ノ爲メニ來ル)多シヲ生スルルハ起炎物忽チ近圍ノ蜂窩織ニ達シテ發炎ス、故ニ本症ハ純然タル蜂窩織炎ナリ
(症候) 惡寒、發熱、劇痛アリ、淚囊部ノ四面一般ニ發赤腫脹シ、臉裂ヲ開張スル能ハサルニ至ル

(診断) 困難ナラス、既往ヲ尋問シ現症ヲ視察シ、尙ホ疑團アルルルハ涙嚢部ヲ指壓シ膿液ノ溢流ヲ檢スヘシ

(治法) 速ニ涙嚢部ヲ縦切シ膿ヲ排泄スヘシ創口閉鎖セサルノ間ハ炎症再發ノ憂ナシ、故ニ切開口ヨリ消息子ヲ挿入シテ涙道ヲ擴張シ以テ其疏通ヲ計ルヘシ、否ラスシテ創口速ニ癒合スルルハ炎症再發ス、

切開口(即涙嚢瘻)ノ癒合ヲ妨ケント欲セハ沃度吻、ガーゼ又ハ護謨管ヲ挿入スヘシ

バゼドウ氏病 Morbus Basedowii.

(原因) 婦人ニ多ク男子ニ少ナシ、婦人生殖器病其主因タリ、時トノ驚愕、苦慮等精神ノ感動ニ起因スルコアリ

(症候) 眼球突出、甲状腺腫大、心悸亢進ノ三症ヲ主徴トス、多ハ兩眼ニ發ス、偏眼ニハ罕ニ之ヲ見ル

(經過) 極テ緩慢ニシテ數年ニ亘ル、其間病勢ノ盛衰アリ(豫後) 疑ハシ、其角膜病ヲ合併スルモノハ不良ナリ

(治法) 原因療法、平流電氣、滋養食餌、清潔空氣等可ナリ、角膜疾患ヲ合併スルノ傾アルルハ繃帶ヲ施スノ必要アリ、就中夜間睡眠中ニ於テ然リ

第參節 眼ノ損傷 Verletzungen des Auges.

(其壹) 打撲 Contusionen. (鈍體作用)

(甲) 眼瞼皮膚 ニハ眉毛弓ヨリ起テ臉頰溝ニ至ルマテ

一般ニ皮下溢血ヲ生ス、時トシテ外力強大ニシテ瞼皮破裂シ、直ニ眼窩縁ニ達スルコトアリ、然ルキハ眼窩膿瘍又ハ蜂窩織炎ヲ發スルコト間、之アリ

(乙) 結膜ニ在テハ、結膜下溢血ヲ生ス

(丙) 角膜ハ時トシテ鞏膜トノ接際ニ於テ破裂スルコトアリ、其他表層渾濁、剝離等ヲ生シ後、進行性潰瘍、膿瘍ヲ生ス、此際多クハ前房硝子體出血ヲ發ス

(丁) 鞏膜ハ尤モ破裂シ易シ、而シテ其裂口ヨリ虹彩、毛様體水晶體、硝子體等ニハ網膜ノ脫出スルコトアリ、虹彩根ノ全剝離ハ所謂虹彩缺乏症 Aniridie 水晶體ノ脫出ハ水晶體缺乏症 Aphakie ヲ生ス

(戊) 虹彩ニハ毛様緣断裂症 Iridodialyse 缺乏症又ハ震盪症

ヲ生シ、或ハ括約筋ノ断裂又ハ麻痺ヲ生ス

(己) 水晶體ハ變位、脫白又ハ白內障ヲ生ス

(庚) 硝子體ニ在テハ出血尤モ多シ

(辛) 脈絡膜ニ在テハ屢、破裂症ヲ生ス、而シテ其形概テ半月狀又ハ鎌狀ニシテ其四面乳頭ニ向フヲ成規トス

(壬) 網膜ハ破裂、出血、剝離等ノ諸症ヲ生ス、否ラサレハ甚タシキ震盪症 Commotio retinae ノ爲メニ一時中心視力ノ減却スルコトアリ

(癸) 眼窩ニハ骨壁ノ損傷ヲ生ス、其内壁ニ骨折アルキハ眼瞼氣腫ヲ生シ、之ヲ指壓スレハ握雪音 Schneeballknirschen ヲ聽ク

眼球全體ノ打撲ハ時トシテ眼球陷沒症 Enophthalmus ヲ生ス

ルコアリ

(其貳) 切創及刺創 Schnitt- und Stichwunden.

此種ノ創傷ハ或ハ眼瞼ノ皮膚ニ止マリ、或ハ深ク眼球内ニ達シ諸膜ヲ穿貫スルコアリ、

(豫後) ノ吉凶ハ職トノ創ノ大小深淺及ヒ起炎性微菌ノ存否等ニ關ス

(治法) ハ外科一般ノ通則ニ從ヒ嚴密ノ防腐法ヲ厲行セサル可カラス、然ルモ尙ホ眼球摘出、眼球内容物摘出等ノ手術ヲ斷行スルノ已ヲ得サルコアリ

(其參) 火傷及腐蝕 Verbrennungen und

Aetzungen.

高熱ニ逢フテ沸騰セル液體、鎔解セル金屬、又ハ鑛屬酸、苛性亞兒加里、生石灰等ニヨリテ生ス

若シ眼瞼外皮ノ損傷ニ止マルキハ万幸ナルモ多クハ結膜及角膜面ニ達ス、然ルハ實質炎ニ目撃スルト同様ノ渾濁ヲ生ス、之ニ觸レテ軟毛筆ヲ用フ知覺鋭敏ナルキハ損傷表層ニ止マリテ尙、多少視力ヲ恢復スヘキ希望アレ、知覺全ク缺乏スルハ是レ深層被害ノ確徴ニシテ概テ絶望ナリ

(治法) 可及的迅速ニ且ツ完全ニ異物ヲ除去ルヲ要ス、但此際洗滌料トシテ撒攪油、亞麻仁油等ヲ使用スヘシ、決シテ水ヲ用フ可カラス

異物ヲ除去シタルキハ直ニ防腐繃帶ヲ行フ、二箇ノ創面相

觸接スルノ虞アラハ布片ヲ敷キテ彼此ヲ阻隔シ、以テ險球
愈着症ヲ豫防スヘシ、其眼瞼外翻症等ヲ發スルモノハ炎症
褪去ノ後適當ノ手術ヲ施行スヘシ

第四節 眼ノ新生物 Neubildungen

des Auges.

(甲) 眼瞼 良性腫瘍ニ屬スルモノハ黃斑腫、觸接傳染性
軟瘤、粉瘤、皮樣囊腫、血管腫等ナリ
惡性腫瘍トシテハ上皮癌、肉腫ノニアルモ共ニ罕ナリ
(乙) 結膜 良性ニ屬スルハ皮樣囊腫ニシテ纖毛ヲ生シ
毛球腺、皮脂腺及汗腺等ヲ有ス
所謂脂斑ナルモノハ病的ニ非スト云フノ說アリ然ルニフ

ックス氏ノ翼狀膜論ハ大ニ從來ノ說ヲ疑ハシムルニ至レリ
先天性ニ脂肪腫ヲ生スルコアリ
惡性腫瘍トシテハ上皮癌、肉腫ヲ發スルコアリ
(丙) 角膜 ニハ特發性腫瘍極テ罕ナリ、肉腫癌腫ノ如キハ
共ニ結膜ヨリ蔓延シ來ルモノナリ
(丁) 鞏膜 ニモ亦タ特發腫瘍罕ニシテ多クハ他部ヨリ蔓延
シ來レルモノナリ
(戊) 虹彩 ノ穿貫性損傷後ニ囊腫ヲ生スルコアリ
結核ハ或ハ粟粒結核トシテ又ハ孤立結核トシテ來ル而シテ
漸々發育シテ遂ニ鞏膜若クハ角膜ヲ破潰シテ増殖スルコ
アリ
肉腫ハ含色素惡性ニシテ發育迅速ナリ

護膜腫、癩病結節等ヲ生ス、共ニ希有ノ症ナリ

(己) 脈絡膜ノ含色素性肉腫ハ中年以上ノ人ニ發ス、希有ト云フ可カラス、其初期ハ獨リ眼底検査ニヨリテ之ヲ診斷シ得ルモ(初期)腫瘍漸々發育スレハ内壓亢進シ、(内壓亢進期)テ疼痛太タシク、已ニノ眼膜ヲ破開スレハ疼痛一時緩解ス、然レモ暫時ニノ球外ニ増殖ス(球外増殖期)當時内臟亦タ轉移性腫瘍アルカ故ニ末期ニ至レハ診斷尤モ容易ナリ

(豫後) 初期ニ眼球摘出術ヲ行フキハ全治ノ望ナキニ非スト雖モ第二期及第三期ニハ絶望ノ外ナシ

(庚) 網膜ノ特發腫瘍ハ神經膠腫(Glioma)ナリ、偏眼又ハ兩眼ニ發ス、兒齡ノ專有物ニノ夙ニ失明シ、瞳孔ヨリ燦爛タル光輝ヲ外方ニ發射ス、ベール氏ノ所謂黒内障性猫眼(Amauro-

tisches Katzenauge) 是ナリ

腫瘍漸々發育シテ一定ノ度ニ達スレハ内壓亢進シ、更ニ一層増大スレハ眼膜ノ一部ヲ破開シテ遂ニ眼球以外ニ露出ス、此期ニ至レハ頭蓋骨、肝臟腦等ノ諸處ニ轉移シ新竈ヲ生ス即チ經過ノ順序略ホ脈絡膜肉腫ニ似タリ

(治法) 時期ノ早晚ニヨリ眼球摘出又ハ眼窩内容物摘出術ヲ施行ス、施術一日ヲ早クスレハ則チ一日ノ利アリ、忽諸ニ附スル勿レ

(辛) 視神經ニハ罕ニ纖維腫、肉腫ヲ特發スルコアルモ共ニ稀有ニシテ多クハ他部ヨリ蔓延セルモノナリ

(壬) 眼窩ノ腫瘍ハ其性ノ善惡ヲ問ハス一定ノ大サニ達スレハ必ス眼球突出症及運動不能ヲ生ス

血管腫骨腫、肉腫、癌腫等ヲ發ス、概テ近傍ノ腔洞ヨリ蔓延シタルモノナリ
護膜腫ノ巨大ナルモノハ余輩數回之ヲ目撃セリ、是レ亦決シテ稀有ノ症ニアラス

第五節 手術 Operationen.

通則

我眼科ニ於テモ亦タ外科一般ノ法則ニヨリ術野、術者及介者ノ手、器械、綑帶等悉ク嚴密ノ防腐法ヲ行フヲ要ス、即チ術野ハ生理的食鹽水(〇、五%)又ハ三千倍乃至五千倍昇汞水ヲ用テ洗滌ス、就中注意スヘキハ結膜及淚囊ノ狀態ニシテ、其淚囊膿漏症アルモノハ殊ニ危險ナリ

麻痺劑トシテハ通例煮沸殺菌セルニ乃至五%古加乙涅水ヲ用キ、長時間ヲ要スル眼瞼手術、眼球摘出、眼球及眼窩内容物摘出術等ノ大手術并ニ不穩ノ患者、小兒等ニハ格魯兒吻ノ全身麻酔ヲ用フ
眼瞼ヲ緊張固定スルニハ角板又ハ狹瞼子ヲ、眼球面ヲ廣ク遊離スルニハ開瞼器又ハ持瞼器ヲ、眼球ヲ固定スルニハ眼球固定鑷子ヲ使用ス
術後需用ニ應シテ偏眼又ハ双眼綑帶ヲ行フ

(其壹) 眼瞼手術 Op. der Lider.

(以) 外眦成形術 Canthoplastik ハ直剪ノ一葉ヲ外聯合皮下ニ送リテ愈着セル外眦ヲ一勢ニ切開シ、三箇乃至五六箇

ノ縫合ニヨリテ外皮ト眼瞼結膜トヲ縫接ス(應用)外眦痊着症

(呂) 瞼軟骨縫合術 Tarsorrhaphie ハ外眦又ハ内眦ノ上下眼瞼遊離縁ノ外皮ヲ切除シテ新創面ヲ作り、二三ノ縫合ニヨリテ創面ヲ縫接ス、即チ外眦成形術ハ瞼裂ヲ擴張シ、本手術ハ之ヲ縮少ス(應用)兔眼、眼瞼外翻症

(波) 睫毛拔去法 Epilation ハ人類ト共ニ世ニ出テタル舊手術ニノ專ラ民間ニ行ハル(應用)睫毛亂生症

(E) 電氣分解法 Electrolyse ハ導電子ノ一端ニ細針ヲ裝フテ之ヲ毛根ニ穿刺シ電氣ヲ通スルキハ毛球枯死シテ再タヒ睫毛ヲ生スルコトナシ(應用)局部睫毛亂生症

(保) ガリヤ氏縫合式 Gaillard's Naht ハ縫合絲ノ兩端ニ

各一箇ノ彎鉞ヲ通シ、其第一鉞ヲ下瞼遊離縁ヲ距ル一仙迷ニシテ全瞼幅員ノ外三分一ニ當レル部位ニ刺入シ、二仙迷許下方ニ於テ之ヲ刺出ス、第二鉞ハ内三分一ノ處ヨリ第一鉞ニ倣フテ(相互ノ距離凡一仙迷)穿刺ス、而後絲ノ兩端ニ南京珠ヲ貫キ或ハ絆創膏枕子トニ之ヲ結合ス(應用)痙攣性内翻症

(邊) 瞼縁成形術 Marginoplastik 種々アリ、アルト、イ、ハ、シ、エ、ー

氏ノ式ハ縁間部ヲ前後二葉(前葉ハ外皮及筋後葉ハ軟骨及結膜ヨリ成ル)ニ切離シ、前葉ヲ上方ニ移植ス、他ノ式ハ遊離縁ニ接シタル物質缺損部ニ皮瓣又ハ粘膜瓣(有莖又ハ無莖)ヲ移植ス(應用)亂生症

(止) 瞼軟骨伸展法 Streckung des Tarsus ハ瞼軟部ヲ瞼縁

ト併行ニ切開シ、軟骨ヨリ三菱形片ヲ切除シ、後、創縁ヲ縫接ス(應用)軟骨ノ舟狀彎曲ヲ兼テタル内翻症

(知)毛地切除術 Abtragung des Cilienbodens ハ、臉遊離縁ノ

睫毛隅ヲ切除ス、(應用)亂生症

上記(波)ヨリ(知)ニ至ル諸手術ハ主トシテ、眼内翻症及睫毛亂生症ニ應用スヘキモノナリ

(利)スズルレン氏縫合式 Snellen's Naht ハ、兩端具鉞

ノ縫合絲ヲ穹窿ヨリ、臉全層ヲ貫テ、眼窩縁以下一横指許ノ皮膚ニ刺出シ、其兩端ニ南京珠ヲ通シテ之ヲ結合ス、同時ニ二箇ノ縫合ヲ行フキハ相互ノ距離凡ソ四乃至五微迷ヲ阻ツヘシ、(應用)外翻症

(奴)眼瞼成形術 Blepharoplastik 種々アリ、或ハ有莖無莖

ノ皮瓣ヲ近傍ヨリ移植シ、或ハチールシ氏ノ上皮移植法ヲ應用ス

(イ)フリケ氏法式 ハ、卵圓形及類似形ノ物質缺損ヲ填充スルカ爲メニ前額、顳額又ハ頰部ヨリ舌狀又ハ半月狀瓣ヲ取り、有莖ノ儘之ヲ移植スルニ在リ

(ロ)デーフェンバハ氏法式 ハ、三角形ノ物質缺損下、眼ニ在リテ其基底、臉縁ニ存スルニ當リ、其基底線ヲ顳額側ニ向テ延長シ、更ニ其終端ヨリ三角ノ外邊ト併行スル皮切ニヨリテ一箇ノ方形瓣(莖)下方ニ在リテ作リ、之ヲ缺損部ニ移シテ縫合ス、而シテ新生(皮)瓣ノ爲ニ物質缺損部ハ肉芽性愈合ヲナス(ハ)クナップ氏法式 ハ、矩形ノ缺損アルニ際シ、鼻側顳額側ノ二方ヨリ各一箇ノ長方形補瓣ヲ作り、其中心ニ於テ兩瓣ヲ

縫接スルナリ

無莖皮瓣ハ前膊ノ屈側ニ取リ、上皮細片ハ上膊ノ屈側ニ求ムルヲ最良トス

(留) 眼瞼下垂症手術 Op. gegen Ptosis.

(イ) パナ氏法式 眉弓ノ下縁ニ兀字形ノ有莖皮瓣ヲ作り、更ニ眉弓ノ上縁ヲ一字形ニ横切シ、兩切間ノ皮下ヲ剝離シテ架橋狀トナシ、皮瓣ノ上端ヲ橋下ヲ經テ眉弓上ノ創縁ニ縫接シ、以テ間接ニ上瞼ヲ舉上ス

(ロ) エーウアースブッシュ氏上瞼舉筋前轉法 ニ在テハ上瞼ノ中央ニ横走半月形ノ皮切ヲ作り、軟部ヲ上下ニ排開シテ軟骨上縁ニ附着セル舉筋ヲ露出シ、其裡面ヲ迂回シテ絲ヲ貫キ、之ヲ縁間部ニ貫出シテ其兩端ヲ結合ス

此外眉毛弓上部ヨリ縁間部ニ絲ヲ貫キテ之ヲ結合シ、或ハ軟骨ニ絲ヲ通シテ之ヲ眉弓ノ中央又ハ上縁ニ貫キテ結合シ、或ハ横楕圓形ノ皮片及輪匠筋纖維ノ一部ヲ切除シテ創縁ヲ縫合スルノ法アリ
上記諸法中(以)ハ完全下垂症ニ適シ、(呂)以下ハ專ラ不全下垂症ニ之ヲ應用ス

〔其二〕 涙道手術 Oper. der Thränenwege.

(甲) 消息子送法 Sondierung 涙道狹窄症ノ治法トシテ

日モ缺ク可カラス、其法ニアリ、一ハ小涙管切開後ニ之ヲ行ヒ、一ハ小涙管擴張後ニ之ヲ施ス

小涙管切開ニハ固有ノ刀アリ、鎌狀ニ彎曲シ末端ニ小球ヲ

具フ、即チ小球ノ嚮導ニヨリテ刀ヲ進メ、乃チ後上方ニ向ケテ下小淚管ナレハ一勢ニ切開ス

擴張法ハ先ツ圓錐形ノ消息子ヲ送入シ、徐々ニ稍ヤ大ナル消息子ヲ送入ス

淚道消息子ハ通例銀製新銀製ハ硬キニ過キテ不可ナリニノ第一號ヨリ第六號ニ至ル、小ヨリ始メテ漸々大ニ及ホスヲ順序トス、此他鉛製消息子ヲ稱用スル人アリ、余輩彼此ヲ比較スルニ伯仲ノ間ニ在リ

(送入方法) 平素五%石炭酸水中ニ浸シ、用ニ臨ンテ之ヲ取出シ、布片ヲ用テ摩擦スルコト少時、其末端ニ沃度吻「ワゼリン」少許ヲ塗り、下瞼皮膚ヲ強ク下外方ニ牽引シテ以テ經路ヲ直ニシ、淚點ヨリ始メテ初ハ外方ヨリ内方ニ進メ、淚囊内壁

ニ達スルキハ他端ヲ上方ニ回轉シテ前端ヲ下方ニ向ハシメ、徐々ニ前進シテ遂ニ鼻腔ニ出ツ

(乙)洗滌法 Auswaschung アチル氏唧筒ニ硼酸、レゾルチン、楊酸等ノ液ヲ盛り、之ヲ小淚管ニ挿入シ、輕壓ヲ用キテ淚囊ヲ洗滌ス、但シ消息子送入後ニハ決シテ洗滌ヲ試ム可カラス

[其三] 結膜及角膜手術 Op an der

Conjunctiva et cornea.

(甲) 瞼球愈着症手術 Symblepharon-Operation 愈着部ヲ剝離シテ新創面ヲ作り、之ニ結膜ヲ移植スルニ在リ、通例自家ノ結膜ハ少ナキニ過キテ用フ可カラス、故ニ死後時間ヲ經

ナル健康人ノ結膜、隆粘膜又ハ家兔ノ結膜ヲ用キテ缺損面ヲ被包ス

(乙)翼狀膜手術 Pterygium-Operation. 假性翼狀膜ニハ通例手術ヲ要セス、獨リ眞性ニ之ヲ行フ、是レ他日進行ノ恐アルカ故ナリ

方法太々簡單ナリ、即チ鑷子ヲ用テ其頸ヲ撮ミ、鉸狀刀又ハ彎剪ニテ成ヘク角膜ニ接シテ之ヲ剝離シ、遂ニ體ニ達スレハ其中ヨリ菱形片ヲ切除シテ而後創縁ヲ縫合ス
廣大ナル翼狀膜ハ剝離後之ヲ地平切ニヨリテ折半シ、其各半ヲ上下ニ分テ之ヲ適宜ノ結膜罅裂ニ縫合ス

(丙)角膜移植法 Keratoplastik.

ヒッペル氏ノ圓鋸ヲ用テ不透性ナル癍痕組織ヲ鋸斷シ、跡ニ

デスセメント氏膜ノミヲ殘シテ其全層ヲ切除シ、更ニ同器械ヲ用キテ人又ハ家兔ノ角膜ヨリ同形同大ノ瓣ヲ取り、之ヲ缺損部ニ移植シ、綳帶ヲ行フ、此手術ヲ誇稱スル者アレモ至竟是レ大言壯語タルニ過キス

(丁)角膜葡萄腫手術 Op. gegen Hornhaut-Staphylom.

局部葡萄腫ハ之ヲ切除シテ其創縁ヲ縫合ス、全葡萄腫ニ至テハ單ニ之ヲ切除シテ綳帶ヲ施スノ法ト、創縁ヲ縫合スル法トノ二種アリ

縫合法ニアリ一ハ直接ニ創縁ヲ縫合シ、一ハ先ツ眼球結膜ヲ剝離シ葡萄腫ヲ切除シタル後其周圍ノ結膜創縁ヲ縫合シテ以テ間接ニ創口ヲ閉鎖ス
切除ノ方法ハ線狀刀又ハ瓣狀刀ヲ用キテ葡萄腫ヲ後方ヨ

リ前方ニ半切シ、鉤顯子ニテ其各箇ヲ撮ミ、彎剪ヲ用キテ其根底ヲ切斷ス

全葡萄腫ノ巨大ナルモノハ當初ヨリ眼球摘出術又ハ眼球内容物摘出術ヲ斷行スルヲ得策トス

(戊) 點墨術 *Tactovirung* ハ角膜白斑ヲ返染スルノ目的ヲ以テ之ヲ行フ、其法四五本ノ鍼ヲ束テ、之ヲ墨汁ニ浸シテ斜ニ癍痕面ヲ鍼刺シ、墨汁ヲ擦入スルニ在リ、是レ一ハ白斑ヲ染メテ黑色トナシ(美術的)、一ハ視力ヲ増加スル(視學的)ノ効アリ

(四) 眼球ニ施ス手術 *Oper. am Bulbus.*

(以) 前房穿刺術 *Punction der Vorderkammer.* 彎鎗狀刀又ハ

穿刺鍼ヲ以テ角膜下縁ヲ穿刺スルニ在リ、此際注意シテ虹彩ヲ毀フコト勿レ

穿刺後、スパテルヲ用キテ數回房水ヲ洩スヘシ

(應用) 緑内障、漿液性虹彩毛様體炎、水晶嚢切開後

(呂) 角膜切開術 *Spaltung der Cornea* 進行性角膜潰瘍ヲ停止セシムルノ目的ヲ以テ潰瘍基底ヲ切開スルコトアリ、其法線狀刀ヲ潰瘍ノ一端ニ刺入シ、他ノ一端ニ於テ之ヲ刺出シ、後方ヨリ前方ニ切開ス

(應用) 潰瘍將ニ破開セントスルキハ其自開ニ任セスノ之ヲ切開ス、蓄膿アレハ切開後之ヲ排除スヘシ

(波) 鞏膜切開術 *Sclerotomie*

(イ) 前鞏膜切開術ハ角膜ノ上縁ヨリ凡一微迷ノ處ニ線狀

刀ヲ用テ之ヲ行フ、而シテ刺入點ト刺出點ノ間ニ鞏膜ノ一片ヲ架橋狀ニ存ス、應用綠内障

(ロ) 後鞏膜切開術ハ子午線ニ沿ヒ赤道ノ近傍ニ之ヲ行フ(應用) 異物又ハ寄生蟲摘出

(仁) 虹彩切開術 Iridotomie ハ水晶體缺損症ニシテ鎖瞳症ヲ生シタル場合ニ之ヲ行フ、其法彎鎗狀刀、線狀刀又ハ鑷子缺ヲ用テ虹彩全層ヲ一氣切開スルニ在リ

(保) 虹彩切除術 Iridectomy ハ光線射入ノ障礙アルニ當テ視學的ニ(然ルキハ造瞳術 Pupillenbildung) ト云フ、内壓亢進ノ恐アルカ或ハ已ニ之アルニ當テ、ハ豫防又ハ治療ノ目的ヲ以テ之ヲ行フ、其他白内障摘出術ノ一節トシテ、未熟白内障ヲ成熟セシムルノ目的ヲ以テ之ヲ行フ、其法左ノ二段ヨ

リ成ル

第一段 角膜切開彎鉗狀刀又ハ線狀刀ヲ用フ

内壓沈降ノ目的ニテ行フキハ虹彩缺損ノ廣大ナルヲ要スルカ故ニ可成邊緣ニ於テ、視學的ニハ缺損ノ狹小ヲ望ムカ故ニ邊緣ニ偏セサル場處ニ於テ之ヲ行フ、甲ハ通例角膜上緣ニ乙ハ内下緣ニ於テス

第二段 虹彩切除(虹彩鑷子及彎剪又ハ鑷子缺ヲ用フ) 閉チタル鑷子ヲ前房ニ送り瞳孔緣ニ達スレハ之ヲ開テ虹彩ヲ撮ミ、創口以外ニ引出シテ之ヲ剪斷ス、而後兩脚同長ナルヤ否ヲ檢シ、箝頓アレハ直ニ、スバテリニテ還納シ、綳帶ヲ行フ

(邊) 白内障手術 Strabopationen 方今ノ眼科ハ截囊法ト

摘出法ノ二法ヲ行フニ止マリ彼ノ所謂壓下法ノ如キハ古物展覽會ノ出品タルニ過キス

(其一) 截囊術 Discision ハ偶然ニ起レル外傷性白内障ニ摸做シテポウメン氏截囊鉞ヲ前房ニ送り、水晶嚢ノ前壁ヲ破開シテ房水ト水晶體ヲ觸接セシメ、其作用ニヨリテ以テ吸収ヲ計ルニ在リ

(適症) 軟性白内障、若年者ノ間層白内障、後發白内障

(法式) 術前アトロピンヲ點下シテ散瞳セシメ、鉞ヲ角膜ノ外下部ヨリ略ホ鉛直ニ刺入シ、瞳孔領ノ中心ニ於テ十字形又ハ卍字形ニ切開シテ直ニ之ヲ拔去シ、創面ヲ洗滌シテ防腐綑帶ヲ行フ

(其二) 摘出術 Extraktionen 摘出術ヲ分チ瓣狀、邊緣線狀及

單純線狀ノ三種トス

(甲) 瓣狀摘出法 Lappenextraktion

(器具) 開眼器、眼球固定鑷子、瓣狀刀、破囊鉞若クハ水晶嚢鑷子、匙子、スバテル

(術式) 次ノ三段ヨリ成ル

(第一) 一段角膜切開 角膜ヲ横ニ五分シタルモノト假定シ、其上五分ノ二ニ相當セル假想線ハ即チ瓣ノ基底線ニシテ、刺入刺出兩點及ヒ切斷面ハ角膜輪以內凡ソ一徵迷ノ處ニ於テスルヲ法則トス
運刀ノ法ハ上方ニ施術スルニハ及ヲ上向シ背ヲ下向シ、豫定ノ刺入點ヨリ刺出點ニ至ルマテ刀側必ス虹彩面ト略ホ併行スルヲ要ス

(第二段) 水晶囊破開 破囊鉞ハ創口ヨリ其側面ヲ虹彩面ト併行ニ送入シ、瞳孔領ニ達スレハ之ヲ鉛直トナシテ囊ヲ方形ニ切開シ、送入時ト同一ノ方法ニヨリテ之ヲ拔出ス

(第三段) 核ノ分娩 匙子ヲ角膜切創ノ反對側切創上ニ在レハ其下方ニ抵テ、之ヲ輕壓スルキハ創口哆開シテ核之ニ臨ミ遂ニ分娩ス

核分娩ノ際虹彩脫出スルキハ直ニ「スバテル」ヲ用テ之ヲ還納ス、術後一二日ヲ經テ再々脫出シ還納スルモ効ナシト思量スルキハ之ヲ切除スヘシ

(乙) 邊緣線狀摘出法 *Periphere Linearextraction.*

(器具) 上舉ノ器械ノ他線狀刀、虹彩鑷子、虹彩剪子等ヲ要ス

(術式) 次ノ四段ヨリ成ル

(第一段) 鞏膜切開 角膜ノ左右兩緣ニ各一箇ノ鉛直線ヲ假想シ、角膜上緣ヲ橫走スル地平線ニヨリテ之ヲ結合シ、其結合點ヨリ以下凡一微迷乃至一、五微迷ノ處ヲ刺入及刺出點トス、刀尖ハ最初瞳孔中心ニ向テ進メ、更ニ柄子ヲ沈メテ其方向ヲ轉シ、刺入點ト同高ノ刺出點ニ貫刺シ、鋸狀運動ヲナシツ、上進シ、角膜輪ノ上緣ニ達スレハ、刀ヲ前上方ニ向ケテ鞏膜ヲ切離シ、更ニ及ヲ上方ニ向ケテ凡二乃至三微迷許ノ結膜瓣ヲ作ル

(第二段) 虹彩切除 上文虹彩切除術ヲ參看セヨ

(第三段) 水晶囊切開 上文瓣狀摘出法ニ行フモノト異ナルコト無シ、唯虹彩缺損アルカ爲メ彼ニ比シテ稍ヤ平易ナルノ差アルノミ

(第四段)核ノ分娩 亦タ瓣狀摘出法ニ同シ

核體ノ分娩セル後皮質ノ一部尙ホ依然眼内ニ止マルト多シ、之ヲ排除スルノ法患者ニ命シテ強ク下方即チ自個ノ胸部ヲ視セシメ、拇指ノ端ヲ下眼瞼遊離線ノ近傍ニ抵テ眼瞼ニテ間接ニ角膜下縁ヨリ上縁ニ向テ輕々摩擦ス、斯クスルルハ創口微カニ哆開シ、皮質脫出ス、之ヲ「化粧」Toiletト云フ

(丙)單純線狀摘出法 Einfache Linearextraction 角膜外縁ヲ距ルコト約三乃至四微迷ノ處ニ彎又ハ直鋒狀刀ヲ用キテ長サ五乃至七、微迷ノ縱切ヲ作り、此切口ヨリ白内障ヲ摘出ス

上記四法ノ得失

截囊術ハ方法最モ平易ニシテ危險最モ少ナキト後治法ツ

簡易ナルヲ以テ他ニ優レリトス、然レモ之ヲ施スヘキ範圍ノ廣カラサルト長日月ヲ要スルトハ本法ノ短處ナリ

單純線狀摘出法ハ軟性又ハ液化白内障ニ適ス、輓近高度ノ近視眼ニ人工白内障ヲ作り後之ヲ摘出スルノ法日一日ヨリモ盛ナリ、斯ル場合ニハ本法頗ル適當ナリ

瓣狀摘出法ト線狀摘出法トハ共ニ一長一短アリ、甲ハ已ヲ得サル場合ノ外、虹彩ヲ切除セサルカ故ニ術後瞳孔天稟ノ圓形ヲ保チ、硝子體脫出ノ危險比較的少ナシ、然レモ核分娩ノ際稍ヤ強壓ヲ要スルカ故ニ硝子體脫出ノ傾アル症ニハ應用ス可カラス、虹彩後愈着ヲ兼テタル白内障ニ適セス、又術後不穩ノ見込アル患者ニハ尤モ不適當ナリ、是レ術後ノ一二日中ニ虹彩脫出症ヲ起シ、之ヲ切除スルノ必要ヲ生ス

ルニヨル

乙ノ短處ハ虹彩缺損ヲ生スルニ在リ、某論者曰是レ完全ノ人ニ畸形ヲ作ルモノナリト、若之ヲ畸形ト云ハ、畸形ナラシ、然レモ上方ニ在ル缺損ハ上瞼ノ爲ニ隠蔽セラレテ平素容貌ヲ害スルコトナシ、

第二ノ短處ハ切創邊緣ニアルカ故ニ硝子體脫出ノ危險稍ヤ大ナリト云フニ在リ、然レモ甲ニ在テモ亦此危險ハ之アリ、反之本法ニ在テハ創面結膜瓣ニ蔽ハル、カ故ニ愈合瞬速ニシテ術後起炎物ノ竊入スル危險少ナシ

眞箇ノ理想的手術トシテハ瓣狀法ヲ推スヘシ、然レモ其不適當ナル場合ニハ線狀法ヲ舉行スヘシ、余輩ヲ以テ之ヲ見レハ殆ント優劣アルコト無シ、人各好ム所アリ、其撰擇ハ之ヲ

各人ニ一任シテ可ナリ

甲乙兩法共ニ核ノ大且硬ニ適ス、所謂老人白內障ニハ人皆此兩法ヲ應用ス

〔其五〕 眼筋ニ施ス手術 Operationen

an den Augenmuskeln.

眼筋ニ施ス手術ニアリ、後轉法及前轉法是ナリ

(甲)後轉法 Rücklagerung

(器具) 開瞼器、有鈎無鈎鑷子各一、斜視鈎大小各一、直彎剪各

一、縫合器具一揃

(術式) 左ノ三段ヨリ成ル

(第一段) 結膜切開及剝離

有鈎鑷子ニテ結膜ヲ上下ヨリ撮ミテ地平皺襞ヲ作り、角膜縁ヲ距ル四微迷ノ處ニ於テ之ヲ縦切シ、彎剪ヲ創口ヨリ送入シテ結膜ヲ剝離ス

(第二段) 斜視鈎ヲ睫ノ後側ニ送リテ之ヲ鈎出シ、鞏膜ニ接シテ之ヲ剪斷ス

(第三段) 術野ヲ清潔ニシテ而後兩眼ノ位置ヲ檢シ、手術ノ効力ニ過不及ナキハ直ニ結膜ヲ縫合シ、綳帶ヲ行フ
本法ハ主ニ内外直筋ニ應用ス

(乙) 前轉法 *Vorlagerung*

(器具) 上記ノ外兩端具鉞ノ絲二條ヲ要ス

(術式) 左ノ四段ヨリ成ル

(第一段) 後轉法ニ同シ

(第二段) 睫ヲ鈎出シテ其上下兩縁ニ各一條ノ絹絲ヲ貫キテ之ヲ結合縛シタル後睫ヲ剪斷ス

(第三段) 角膜縁ニ接スル結膜ヲ鞏膜ヨリ剝離シ其裡面ヨリ鉞ヲ前方ニ貫キ睫ヲ縫合ス

(第四段) 術野ヲ清潔ニシ結膜ヲ縫合シ、綳帶ヲ行フ
本法亦々通例内外直筋ニ之ヲ行フ

(六) 眼球摘出法、眼球及眼窩内容物

摘出法、視神經及毛様神經切斷

又ハ切除法

(甲) 眼球摘出法 *Enucleation* トハ眼球ヲテノン氏囊ヨリ剝離シ、筋及神經ヲ剪斷シテ摘出スルヲ謂フ

(器具) デマール氏開險器、鉤鑷子、大小彎剪各一、縫合鉞及附屬品、氷壹斤、イリガトール、綳帶

(麻藥) 格魯兒保兒母、(禁忌ニハ硫酸、エーラル、)

(術式) 左ノ三段ヨリ成ル

(第一段) 結膜切開

先ツ角膜輪ニ接シテ結膜ヲ環狀ニ切開シ、尋テ周ク後方ニ向テ鞏膜ヨリ切離シ赤道部ニ至ル

(第二段) 直筋切斷

先ツ外直筋ヲ其附着點ヨリ三微迷許ヲ距レテ剪斷シ、次ニ上下及内直筋ヲ其附着部ニ於テ剪斷ス

(第三段) 視神經切斷

有鉤鑷子ヲ用キテ外直筋ノ斷端ヲ強ク内方ニ牽引シ、大彎

剪ノ凹面ヲ眼球ニ向ケテ深部ニ送入シ一氣神經ヲ剪斷シテ眼球ヲ引出シ、上下斜筋ヲ切離ス

視神經ヲ切斷スルト全時ニ亦タ血管ヲ切斷スルカ故ニ一時多少出血アリ、然レモ氷水ヲ灌漑スルキハ通例直ニ止血ス、然後結膜創縁ヲ縫合スルコト珠數袋ノ紐ノ如クシ、タンポンヲ挿置シ綳帶ヲ施ス、術後數日ニノ創口愈合ス

(適症) 眼水腫、覆盆子様眼、神經膠腫、脈絡膜肉腫、重症外傷

(乙) 眼球内容物摘出法 Exenteratio bulbi

(器具) 開險器、鑷子、線狀刀、小彎剪、縫合鉞及附屬品

(麻藥) 全上

(術式) 次ノ三段ヨリ成ル

(第一段) 角膜切除 線狀刀又ハ瓣狀刀ヲ用キテ角膜ヲ切

開シ、彎剪ニテ之ヲ鞏膜縁ヨリ切除ス

(第二段) 内容物搔除 銳匙ヲ用テ悉ク内容物ヲ搔浚スレハ鞏膜露出ス

(第三段) 鞏膜縫合 創縁縫合ノ際結膜ヲモ全時ニ縫接スルヲ可トス

後治方并ニ適症全上

(丙) 眼窩内容物摘出法 Exenteratio orbitae

(器具) 「スカルペル」、止血用「シーバー」、鑷子、銳鈎、骨膜匙子、彎剪

(術式) 先ツ外毗ヲ横切シテ眼瞼ヲ上下ニ牽引シ、尋テ眼窩縁ヲ周子ク環狀ニ切除シ、骨膜匙ヲ用テ骨膜ヲ剝離シ、視神經孔ノ近傍ニ於テ神經幹、眼動脈及筋ヲ剪斷ス

止血ハ「タンポン」烙鐵又ハ烙白金ヲ用フルヲ可トス、止血劑ヲ濫用スルヲ勿レ

(適症) 眼内悪性腫瘍ニシテ眼球摘出術ヲ行フモ無効ナル可キ危惧ノ念アル場合等

(丁) 視神經及毛様神經切除法 Neuroctomia optico-

ciliaris

(器具) デマール氏開瞼器、彎剪大小各一、斜視鈎、縫合用附屬品一式

(術式) 左ノ四段ヨリ成ル

(第一段) 結膜切開
内直筋附著ノ部位ニ於テ長十二微迷ノ縦切ヲ作り其内側ニ於テ結膜ヲ遊離ス

(第二段) 直筋切断

附著部ヲ距ルコト凡ソ三微迷ノ處ニ於テ筋ヲ剪斷スルノ必要アルカ故ニ其上下ニ各一條ノ絹絲ヲ貫キテ之ヲ固定シ而後之ヲ剪斷ス

(第三段) 神經切除

鉤鑷子ヲ用テ斷片ヲ撮ミ眼球ヲ強ク外方ニ牽引シ、彎剪ヲ以テ視神經ヲ其眼球穿入部ヨリ凡十微迷ヲ距テ、切斷シ更ニ眼球ヲ一層強ク外方ニ牽引スルキハ其後極露出ス、乃チ視神經斷片ヲ穿入部ニ接シテ切除シ、故位ニ還納ス

(第四段) 囊ニ切断セル内直筋ノ兩端ヲ縫合シ、尋テ結膜創口ヲ二三縫合ニヨリテ閉鎖ス

(適症) 交感性眼炎ニシテ眼球摘出法、眼球内容物摘出法等ヲ

憚思スルモ同意ヲ得サル場合ニ之ヲ行フ

義眼 Prothesis, kuenstliches Auge.

(効用) 容貌ヲ修飾シ、涙液ヲ疏通シ、眼窩ノ畸形、慢性結膜炎ヲ豫防ス

(取扱) 之ヲ嵌入スルニハ(他人ニ)其外縁ヲ右手ノ拇示兩指間ニ撮ミ、左手ヲ用テ上瞼ヲ微カニ上方ニ牽引シ、其内上縁ヲ上瞼下ニ嵌入スルト全時ニ下瞼ヲ少シク下外方ニ掣下スル片ハ容易ニ之ヲ嵌入スルヲ得、之ヲ取出サント欲セハ下瞼ヲ掣下シ、束髮針ノ鈍端ヲ義眼ノ下縁ニ挿入シテ少シク前方ニ壓スル片ハ自然ニ脱出ス
最初ハ毎日數時間之ヲ挿置シ、漸々時間ヲ延長ス、然レモ夜

間睡眠中ハ必ス之ヲ取出シ水中ニ貯フヘシ
 義眼光輝ヲ失フキハ直ニ之ヲ交換スヘシ其疼痛刺戟等ヲ
 生スルハ是レ義僞不適當ノ確徴ナリ宜シク一時之ヲ中止
 スヘシ
 眼球摘出術後義眼ヲ挿入スルハ凡ソ六週間經過ノ後ニ於
 テスヘシ早キニ失スルハ不可ナリ

異物 Corpora aliena.

異物ノ占居スル位置ハ左ノ如シ

- (其一) 小異物ハ多ハ險裡ノ軟骨下溝ニ占居ス
- (其二) 穹窿部亦タ異物ノ好ンテ潜伏スル處ナリ
- (其三) 眼球結膜ニモ附着又ハ箱入スルコアリ

(其四) 角膜面ニ於テハ異物ノ一端角膜ニ箱入シ他端ヲ以
 テ瞬動時ニ險裡面ヲ刺戟スルコアリ或ハ其尖端深ク前房
 ニ突出スルコアリ
 異物ノ一端角膜面ニ隆起スルキハ鑷子ヲ用テ之ヲ撮ミ或
 ハ異物針ヲ用テ之ヲ鑿出スコヲ得其深層ニ入リテ前房ニ
 陷落スルノ危険アラハ鎗狀刀ヲ其裡面ニ送りテ以テ其滑
 脫ヲ防キ而後其摘出法ヲ工夫スヘシ
 小異物滑脱シテ前房ニ入ルキハ之ヲ獲ンコ甚タ難シ獨鐵
 片ハ磁石ノ吸引力ヲ借リテ之ヲ發出スヘシ
 (其五) 眼球外壁ノ表面ニ在ル異物ハ之ヲ拔去スルコ容易
 ナリ然レモ其一端毛樣體ニ達スルキハ創部ニ癍痕ヲ生シ
 爲メニ交感性眼炎ヲ生スルコアリ

(其六) 虹彩ニ異物アルキハ組織ノ一片ト共ニ之ヲ切除ス其全層穿貫創ハ通例外傷性白内障ヲ兼發ス

(其七) 前房ノ異物ハ除去困難ナリ

(其八) 水晶體ニ在ルキハ白内障ノ起ルヲ俟テ共同ニ摘出スヘシ

(其九) 硝子體ニ鐵片ノ存在ヲ確知セハ電氣磁石ノ吸引力ヲ借テ之ヲ摘出ス其法通例赤道近傍ニ於テ子午線切ヲ作リ其創口ヨリ磁石ノ尖端ヲ送入ス

(其十) 網膜脈絡膜視神經等ノ深部ニ異物到達シタルキハ虹彩毛樣體炎全眼球炎等危險ノ症ヲ發ス一旦全眼球炎ヲ發スルキハ眼膜破開シ膿液溢出スルノ際異物亦共ニ球外ニ出ツルカ故ニ交感性眼炎ノ危險ハ殆ント之レ無シ

眼内異物經久炎症ヲ發セサルアリ或ハ直ニ劇炎ヲ發スルアリ是レ竄入ノ當時起炎物ノ附着スルト否ニ關ス

處方集

(其二) 防腐藥

- (一) 昇汞 〇、〇三 餾水 三〇〇、〇 罌法料
- (二) 昇汞 〇、〇六 餾水 三〇〇、〇 同上
- (三) 硼酸 九、〇 餾水 三〇〇、〇 同上
- (四) 硼砂 三、〇 餾水 三〇〇、〇 同上
- (五) 格魯兒水 二〇、〇 黑蠟ニ貯フ 點眼料
- (六) 格魯兒水 三〇〇、〇 同上 罌法料
- (七) 硫酸石炭酸亞鉛 格魯兒酸亞鉛 各〇、六

硼酸	〇、四	水楊酸	〇、一
橙酸		チモール	各〇、〇一

右錠トナスロツテル氏錠是ナリ用ニ臨テ溶液トス

(其二) 麻痺藥

(一) 鹽酸古加乙涅 〇、二 餾水 一〇、〇

局部麻痺藥トシテ結膜角膜ニ點下ス

(二) 鹽酸古加乙涅 〇、四 餾水 一〇、〇

同上

(其三) 散瞳藥

(一) 硫酸アトロピン 〇、一

一万倍昇液 一〇、〇

(二) 硫酸アトロピン 〇、〇五

一万倍昇液 一〇、〇

(三) ホマトロピン 〇、一

エフェドリン 一〇、一

餾水 一〇、〇

右眼底檢査用

(四) 硫酸アトロピン 〇、一

鹽酸古加乙涅 〇、二

餾水 一〇、〇

(其四) 縮瞳藥

(一) 硫酸エゼリン 〇、一

餾水 一〇、〇

(二) 鹽酸ピロカルピン 〇、一

(其五) 収斂藥

- 餾水 一〇、〇
- (一) 硝酸銀 〇、三
- 餾水 一〇、〇
- (二) 硝酸銀 〇、二
- 餾水 一〇、〇
- (三) 硝酸銀 〇、一
- 餾水 一〇、〇
- (四) 硫酸銅 〇、五
- 餾水 一〇、〇
- (五) 加硝石硝酸銀 棒狀トナシ結膜ニ塗布ス
- (六) 硫酸銅物質 同上

(其六) 和設林合劑

- (一) 硫酸アトロピン 〇、一
- 白色ワゼリン 一〇、〇
- (二) 水銀灰白軟膏 二、〇
- ラノリン 六、〇
- ワゼリン 一〇、〇
- 右ミトワルスキー氏軟膏ト云フ
- (三) 白降汞 〇、一—〇、二
- ワゼリン 一〇、〇
- (四) 黄降汞 〇、一
- ワゼリン 一〇、〇
- (五) 赤降汞 〇、一

ワゼリン

一〇〇

(其七) 軟膏類

- (一) 水銀灰白軟膏
- (二) 亞鉛華軟膏
- (三) ヘブラ氏軟膏

(其八) 散藥

- (一) 沃度吻細末
- (二) 眼用甘汞
- (三) 澱粉末

復習用眼科學 畢

全 明治二十九年五月廿九日印刷
年六月二日發行

定價金六拾錢

纂譯者兼
發行者

東京市麴町區有樂町三丁目壹番地
國谷末之輔

纂譯者

東京市京橋區因幡町七番地
鈴木幹

全

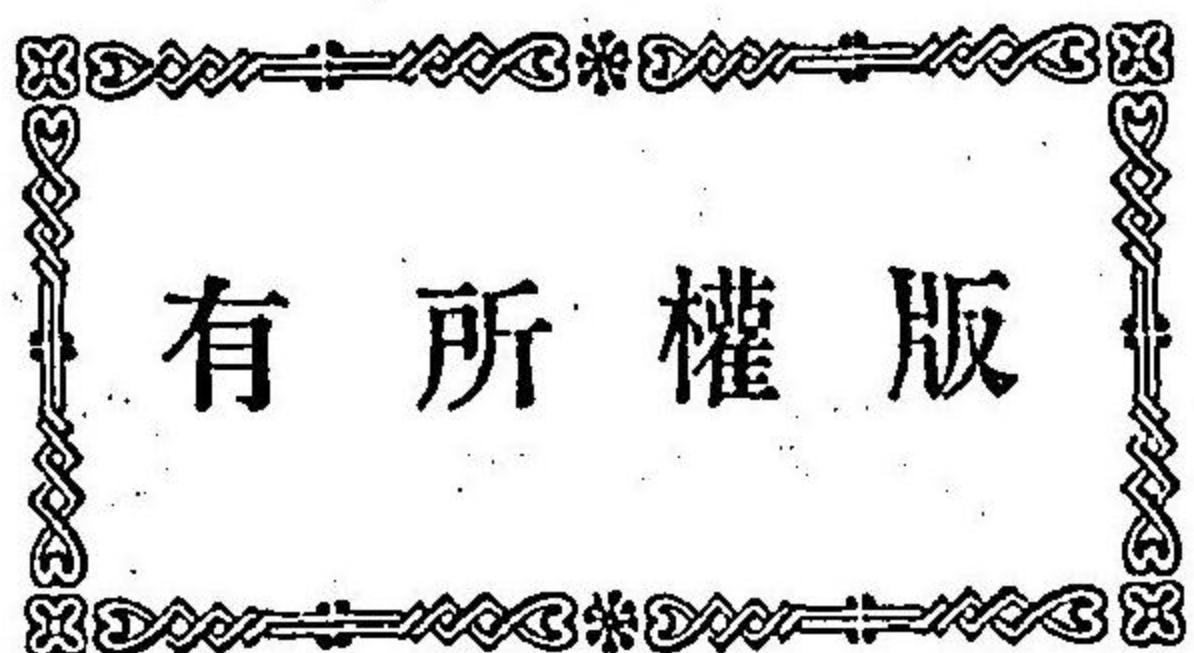
飯塚近松

印刷者

東京市日本橋區藥研堀町三十三番地
仁科衛

印刷所

東京市日本橋區藥研堀町三十三番地
厚信舍



發 兌 書 肆

東京市日本橋區馬喰町二丁目

島 村 利 助

全 市本郷區春木町三丁目

島 村 利 助 支 店

全 市本郷區春木町二丁目

半 田 屋 書 廊

全 市本郷區湯島切通阪町

南 江 堂

全 市日本橋區通三丁目

Ⓜ 丸 善 株 式 會 社 書 店

大阪市中心齋橋筋壹丁目

關西賣捌所 文 海 堂 松 村 九 兵 衛

奧國 智兒馬克先生 原著
帝國 宮下俊吉先生 纂譯

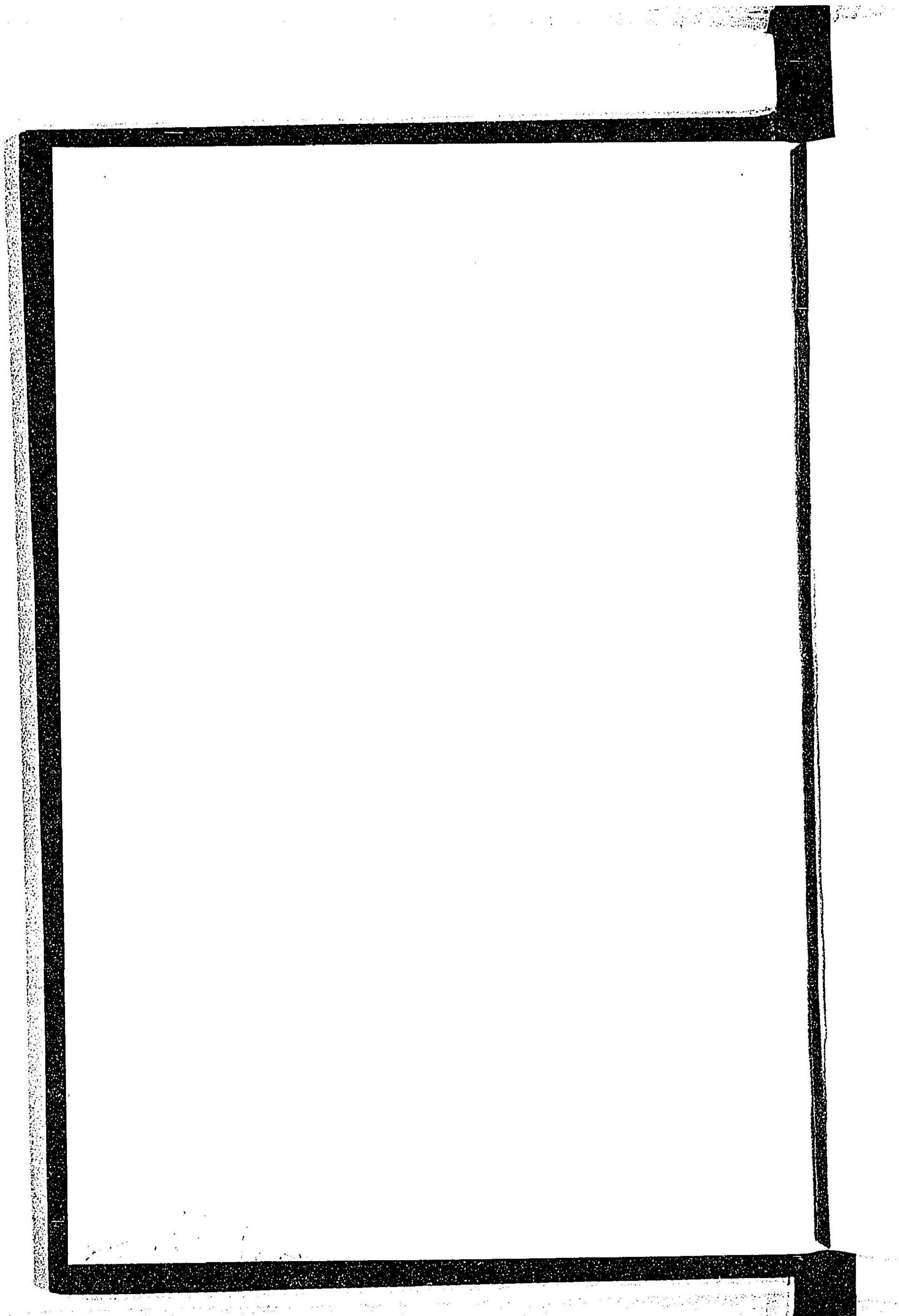
眼 科 診 斷 學 完

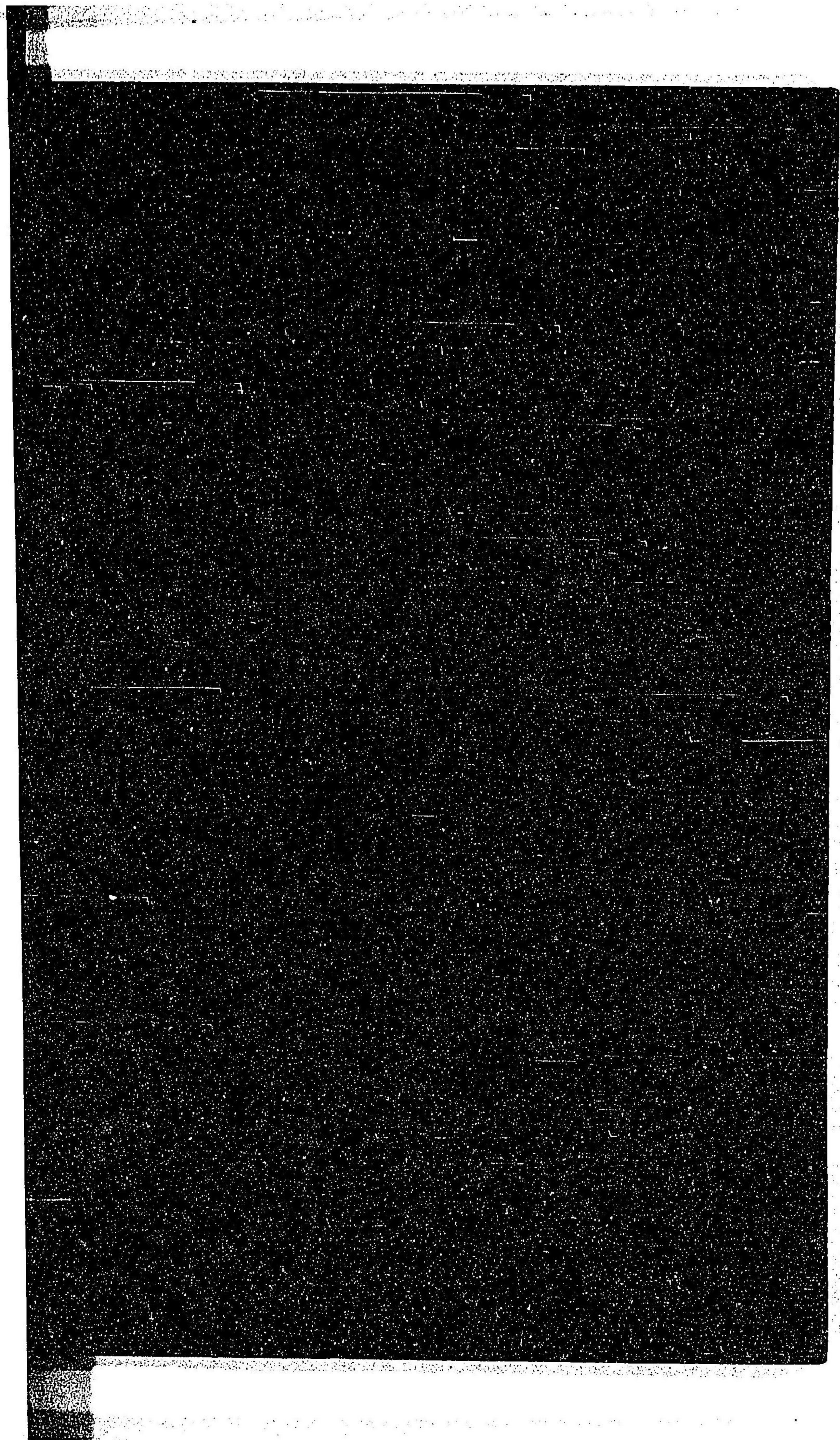
○插圖 ○紙頁百八拾三頁 ○實價五拾錢

眼科診斷學ノ一日モ缺ク可カラサルハ世間已ニ定論アリ
今更喋々スルヲ要セス本書ノ原著者ハ奧國著名ノ智氏ニ
ノ參フルニ宮下先生多年ノ實驗ヲ以テセル一種出色ノ書
ナリ文章簡潔意義明晰殊ニ受験者及ヒ實地家ニハ無上ノ
好侶伴ナリ

發兌書肆 英蘭堂 島村利助謹白

2E93





55
14

060120-000-9

55-14

復習用眼科学

国谷 末之輔 / 等編訳

M29

CBJ-0197

